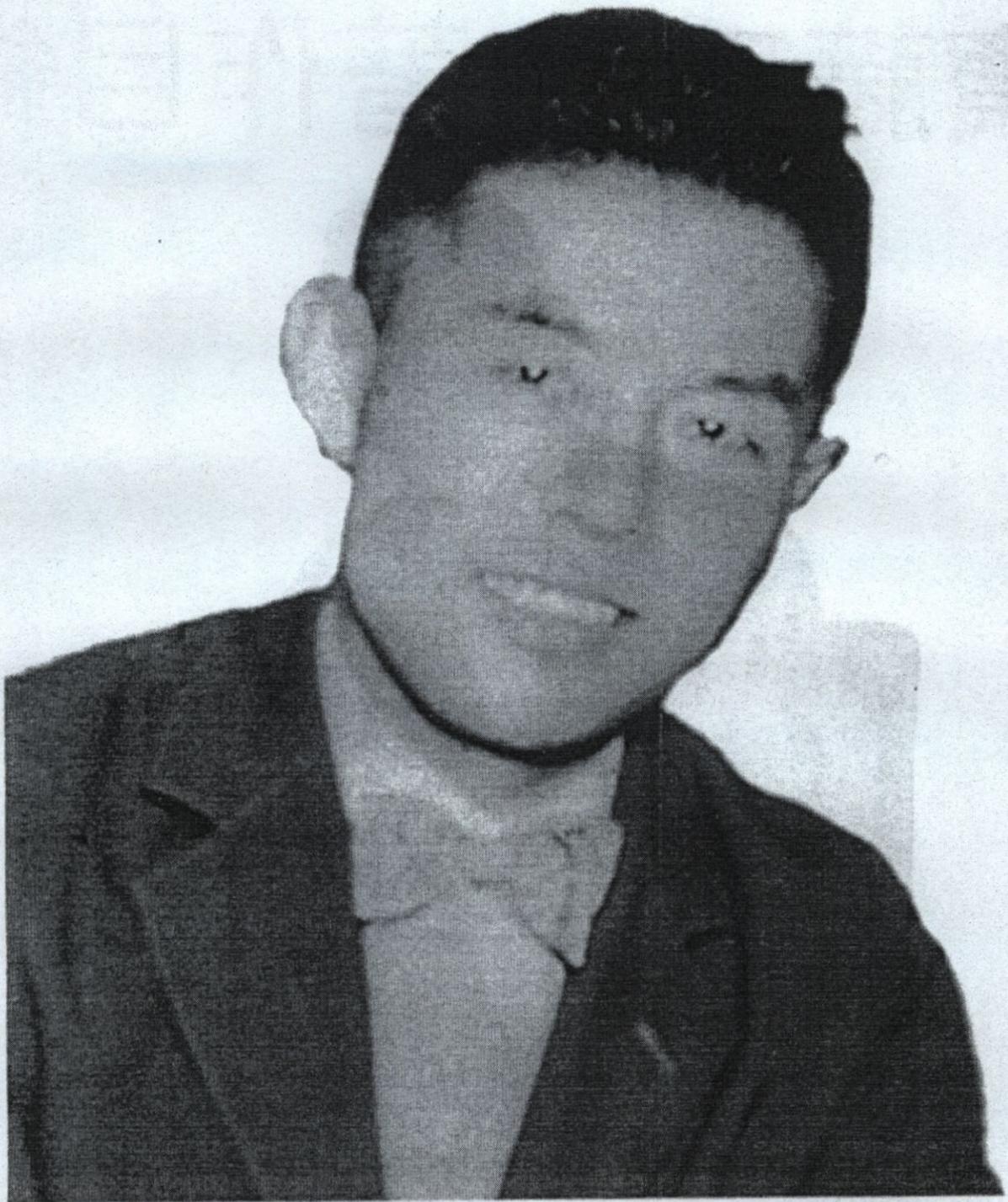


齋藤三郎 著作目録





目 次

ま え が き	03
分野別著作一覧	04
◇著 作 目 録	06
◎人々が見た齋藤三郎	28
齋藤三郎著作索引	36

まえがき

これは齋藤三郎(さいとう さぶろう 1895-1960)の著作および齋藤について書かれた著作のなかで、2008年2月2日までに判明したものをまとめたものです。

本書の構成としては 最初に齋藤の著作タイトル一覧を分野別に掲げ、齋藤の著作の全体像を示しました。

次に、その著作を年代順に並べ、発表年月日・所蔵先・タイトル・掲載・内容などについて記述しています。

また、「◎人々が見た齋藤三郎」の項では、齋藤三郎について書かれている著作の一部を紹介しています。

齋藤三郎は、野球史と石川啄木の研究を中心として、映画史や文学史、さらには新選組についての作品など幅広い業績を遺しています。

しかし、今のところ彼の各分野での緻密で多才な研究成果もあまり知られていないのが現状です。

今後、齋藤の新たな著作が発掘されて、齋藤三郎への理解がさらに深まることを願っています。

この小著をつくるにあたっては、齋藤三郎の御実弟・齊藤恒吉様、御実妹・齊藤くめ様をはじめ、齋藤研究の第一人者で作家の横田順彌様、御親族の齊藤善久様、齊藤正一様、齊藤由紀夫様、市村良江様、宮崎一雄様、その他の齋藤にゆかりある皆様からあたたかい御厚情をいただきました。あらためて心より御礼を申し上げます。

野 球 史 研 究		啄 木	
No	タイトル	No	タイトル
01	新國劇野球部 關西轉戰記	35	野球文獻解題
05	「早慶戦時代」6景 (新國劇 本郷座 七月上演台本)	36	野球理論確立の情熱 (野球文獻解題2)
06	「作者の言葉」	37	一高時代の野球 -野球文獻史解題3-
07	運動精神の眞を探ねて 「早慶戦時代」について	42	野球綺談
08	日本野球物語 明治初年の野球と当時のルール 【上】【中】【下】	44	野球むかしばなし
10	國際野球試合の濫觴 イムプリー事件 【上】【下】	45	日本のクーパース・ タウンはどこか
11	野球の變遷 爐邊球談	46	野球千夜一夜
16	本朝 “野球學” 事始め ①～⑱	54	野球文獻史話 1～19
21	日本最初の野球の書 上 中 下	59	近代打法私見
23	『日本 野球文獻解題』	60	神宮球場の旋風兒
24	野球の渡來年代に就て ①～④	62	外野席から審判へ
26	素手時代の少年野球 【練成の野球】	63	バッティング論 近代打法と早稲田式
28	『野球』命名前後	73	日本 野球文獻解題
30	一高野球部の精神 【野球練成物語】	92	?【参考】 ホームランボール
32	脚絆草鞋掛けの野球 -一高霸權確立の鍵-	93	?【参考】昭和七年實用新案 出願公告 第一四三四六號 第百十五類 一二、毬
33	精神野球酣の頃 (覇者一高悲憤の雪辱)	94	?【参考】 魂の球士 内村鑑三氏と野球
12	啄木拾遺	13	啄木の逸詩 =『夏の朝』に就て=
14	啄木の逸歌	29	『文獻 石川啄木』
31	『續 文獻 石川啄木』	39	『悲しき玩具』の 決定版に就て
40	解題 『啄木歌集』	41	『啄木と故郷人』 〈學藝選書-1-〉
43	定本「啄木歌集」に就て (白桃書房版)	47	石川啄木における 思想的詩歌の發展(上)(下)
53	啄木と労働の歌	55	解説 『青春の譜』
56	啄木の俳句	57	解題 『石川啄木詩集』
58	解説 『石川啄木 全歌集』	61	あとがき 『啄木全集』第1巻～16巻

別 著作 一 覧

研 究		そ の 他			
No	タイトル	No	タイトル	No	タイトル
64	小傳	02	道頓堀から —新國劇—	51	再び「蘇蔓殊」に就て
65	蕪村と啄木	03	新國劇座員フースヒー 幹部男優の巻(1)(2)	52	蘇山人とその俳句
66	書評 岩城之徳著 『石川啄木伝』	04	紙上芝居 赤穂浪士・沓掛時次郎	76	逸文抄(その十) 上海紀行【復刻版】
67	『啄木文學散歩 —啄木遺跡を探る—』	09	眞山青果と 澤田正二郎	77	掘出し物語【復刻版】
68	解題 『啄木歌集』(20刷 改版)	15	逸文抄(その十) 上海紀行	78	滬遊雜吟 (逸文抄十四その一) 【復刻版】
69	「所謂今度の事」に ついての一考察	17	掘出し物語	79	投書家時代の 荷風の作品(逸文) 【復刻版】
50	定本「啄木歌集」に就て (梅花書院版)	18	滬遊雜吟 (逸文抄十四その一)	80	板垣退助氏が語る —中江兆民の臨終に就て— 【復刻版】
70	小傳	19	日本に於ける最初の 映畫興行記録	81	鏡花の逸文 『僕の迷信』に就て 【復刻版】
71	あとがき 新装版『啄木全集』 第1～16巻	20	東京に於ける最初の ヴァイタスコープ興行記録	82	聞きがき 新選組秘話 綾瀬村の近藤勇 第一話
71 11	「所謂今度の事」に ついての一考察 新装版『啄木全集』第十巻	22	活動寫眞渡來 以前の文献	83	綾瀬村の近藤勇
72	啄木の伊藤公哀悼歌 と頽廢歌攻撃	25	投書家時代の 荷風の作品(逸文)	84	*【写真】 澤田と中井の角力勝負(二色寫眞) 夏の旅…澤田正二郎の海水浴
74	解題 『啄木歌集』 (岩波クラシックス49)	27	『敵は幾万』と美妙 —・二・三	85	*【写真】 馬上姿の澤田
75	啄木の逸歌 【復刻版】	34	板垣退助氏が語る —中江兆民の臨終に就て—	86	*【座談会】 モデルの人「オリムピック」の 鶴田選手を圍んで
87	*【座談会】『脚光を浴びる啄木』 前進座「若き啄木」上演 記念 座談會	38	鏡花の逸文 『僕の迷信』に就て	89	* ▽談話室▲ 御禮
88	*【座談会】 啄木の人と生活	48	與謝野晶子の長詩 『君死に給ふこと勿れ』に就て (上)(下)	90	*「▲明星堂の古本目録」 広告
		49	謎の放浪詩人 『蘇蔓殊』について 【一・二・三・完】	91	?【参考】 新國劇戲會速記録

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]		
					発行元		
01	1926.01.01 —30歳—	野球 国会	新國劇野球部 關西轉戦記	雑誌	野球界	16(01)[073] 野球界社	新國劇の関西方面巡業における野球試合の成績と名古屋市での試合中の事故報道について
02	1926.02.28 —30歳—	新国劇 国会	道頓堀から —新國劇—	新聞	讀賣新聞	(17589)[朝刊 05面] 讀賣新聞社	新國劇の大阪での興行と野球試合の結果などについての記事
03 01	1928.04.01 —32歳—	新国劇 日芸	新國劇座員 フースヒー 幹部男優の巻(1)	雑誌	新國劇	(01)[018~022] 新國劇事務所	新國劇の劇団員の逸話を紹介したコラム風の読物の第一回。(中井、野村、南、根岸、佐藤、鬼頭、鳥井、赤井、柳木)
03 02	1928.06.01 —32歳—	新国劇 日芸	新國劇座員 フースヒー 幹部男優の巻(2)	雑誌	新國劇	(02)[022~024] 新國劇事務所	新國劇の劇団員の逸話を紹介したコラム風の読物の第二回。(鈴木、菊岡、勇ちゃん、島田、石山、丸ちゃん)
04	1929.03.01 —33歳—	新国劇 日芸	紙上芝居 赤穂浪士・ 沓掛時次郎	雑誌	新國劇	(06)[020~045] 新國劇事務所	新國劇で上演した芝居を誌上で再現した読物
05 01	1929.06.30 —33歳—	野球 国会	早慶戦時代 6景 (新國劇 本郷座 七月上演台本)	新聞	週刊朝日	15(29)[004~007] 朝日新聞社	1906年秋の早慶戦を題材にした脚本。大規模劇場での日本初の野球演劇。(第一景 早稲田大學附近のある壽司屋/第二景 慶應義塾附近のある老フアンの家)
05 02	1929.07.07 —33歳—	野球 国会	早慶戦時代 6景 (新國劇 本郷座 七月上演台本) 【第二回】	雑誌	週刊朝日	16(01)[016~018] 朝日新聞社	(第三景 三田綱町 慶應グラウンドの一隅/第四景 戸塚 早稲田大學グラウンドの一隅/第五景 日比谷附近のあるピヤホール/第六景 神宮球場)
06	1929.07.07 —33歳—	野球 国会	「作者の言葉」	雑誌	週刊朝日	16(01)[017] 朝日新聞社	早慶戦時代を執筆した経緯や内容について書いたもの。執筆日付は1929年06月24日
07	1929.07.09 —33歳—	野球 国会	運動精神の眞を探ねて 「早慶戦時代」について	新聞	讀賣新聞	(18810)[朝刊 05面] 讀賣新聞社	スポーツマンシップについての感想を述べたもの
08 01	1934.03.15 —38歳—	野球 国会	日本野球物語 明治初年の野球と 當時のルール【上】	雑誌	アサヒ・スポーツ	12(06) [019, 027~028] 朝日新聞社	明治時代初期の日本の野球事情を物語風に書いた連載の第1回

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
08 02	1934.04.01 —38歳—	野球 国会	日本野球物語 明治初年の野球と 当時のルール【中】	雑誌	アサヒ・スポーツ 12(07)[018~019]	朝日新聞社	明治時代初期の日本の 野球事情を物語風に書 いた連載の第2回
08 03	1934.04.15 —38歳—	野球 国会	日本野球物語 明治初年の野球と 当時のルール【下】	雑誌	アサヒ・スポーツ 12(09)[024~025]	朝日新聞社	明治時代初期の日本の 野球事情を物語風に書 いた連載の第3回
09 01	1934.05.01 —38歳—	新国劇 日芸	眞山青果と 澤田正二郎	雑誌	テアトロ 01(01)[045~049]	テアトロ社	秋田雨雀が主宰した雑誌 に眞山青果と澤田正二郎 の思い出などを綴った読 物の第1回
09 02	1934.06.01 —38歳—	新国劇 日芸	眞山青果と 澤田正二郎 (その二)	雑誌	テアトロ 01(02)[023~027]	テアトロ社	秋田雨雀が主宰した雑誌 に眞山青果と澤田正二郎 の思い出などを綴った読 物の第2回
10 01	1934.07.15 —38歳—	野球 国会	国際野球試合の濫觴 イムプリー事件 【上】	雑誌	アサヒ・スポーツ 12(16)[018~020]	朝日新聞社	1890年の一高と明治学院と の試合中におこった「イン プリー事件」を題材とした読物 の第1回
10 02	1934.08.01 —38歳—	野球 国会	国際野球試合の濫觴 イムプリー事件 【下】	雑誌	アサヒ・スポーツ 12(17)[025~027]	朝日新聞社	1890年の一高と明治学院と の試合中におこった「イン プリー事件」を題材とした読物 の第2回
11	1935.02.01 —39歳—	野球 国会	野球の變遷 爐邊球談	雑誌	アサヒ・スポーツ 13(03)[028~029]	朝日新聞社	「春 山…青年野球ファン」と 「秋 田…野球通の老人」が 問答形式で野球の蘊蓄を語る 読物
12	1935.02.03 —39歳—	啄木 近文	啄木拾遺	雑誌	明治文學研究 02(02)[001~002]	明治文學談話	執筆時には知られて いなかった石川啄木の 作品を紹介した短文
13	1936.07.15 —40歳—	啄木 国会	啄木の逸詩 =『夏の朝』に就て=	新聞	東京日日新聞 (21538)[朝刊 09面]	東京日日新聞	新発見の啄木の詩を紹介 したもの。現在では啄木の 作品か疑問とされている
14	1936.08.01 —40歳—	啄木 国会	啄木の逸歌	雑誌	書物展望 06(08)[166~167]	書物展望社	それまで知られていなか った啄木の短歌を紹介した 評論。執筆日付は1936年 06月04日

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
15	1937.03.01	—41歳—	逸文抄(その十) 上海紀行	新聞	書物展望	07(03)[274~278]	永井荷風の初期の作品を発掘し紹介したもの 書物展望社
16 01	1937.03.06	—41歳—	本朝「野球學、事始め①」 ストレンヂの「戸外遊戯」 當時は三正球・七凡投	新聞	東京日日新聞	(21770)[朝刊 13面]	明治期の野球史を調べた連載の第1回。1883年6月に発行されたF・W・ストレンヂの“Outdoor Games”などについて述べたもの 東京日日新聞
16 02	1937.03.07	—41歳—	本朝「野球學、事始め②」 (あんまりべんけうばかりすると) 海内學者競焦腦 (ポックリしんでしまふぞ) 不測弊害必然勢	新聞	東京日日新聞	(21771)[朝刊 11面]	明治期の野球史を調べた連載の第2回。石藤豊太の談話や下村泰大[編輯]『西洋 戸外遊戯法』(1885年3月発行)などを紹介したもの 東京日日新聞
16 03	1937.03.08	—41歳—	本朝「野球學、事始め③」 坪井氏の著書は 最古のものでない	新聞	東京日日新聞	(21772)[朝刊 09面]	明治期の野球史を調べた連載の第3回。明治十年代頃までの用具やルールなどについて述べたもの 東京日日新聞
16 04	1937.03.09	—41歳—	本朝「野球學、事始め④」 既に提唱された チェンジ・オブ・ペース	新聞	東京日日新聞	(21773)[朝刊 11面]	明治期の野球史を調べた連載の第4回。1885年の4月に発行された坪井玄道・田中盛業[編纂]『戸外遊戯法』の内容などについて述べたもの 東京日日新聞
16 05	1937.03.10	—41歳—	本朝「野球學、事始め⑤」 鮮血淋漓の野球 インブリー事件の真相	新聞	東京日日新聞	(21774)[朝刊 13面]	明治期の野球史を調べた連載の第5回。「筆華」(一高校友会雑誌の前身)などに掲載された記事を紹介したもの 東京日日新聞
16 06	1937.03.11	—41歳—	本朝「野球學、事始め⑥」 運動の外道 異端視された揺籃期	新聞	東京日日新聞	(21775)[朝刊 13面]	明治期の野球史を調べた連載の第6回。中馬庚が一高校友会雑誌に発表した記事などを紹介 東京日日新聞
16 07	1937.03.12	—41歳—	本朝「野球學、事始め⑦」 手袋の妙技 一高黄金時代の異彩	新聞	東京日日新聞	(21776)[朝刊 09面]	明治期の野球史を調べた連載の第7回。一高校友会雑誌に掲載された記事により明治20年代の一高の野球状況を紹介したもの 東京日日新聞
16 08	1937.03.13	—41歳—	本朝「野球學、事始め⑧」 意気で戦ふ 外人軍撃破の一高	新聞	東京日日新聞	(21777)[朝刊 11面]	明治期の野球史を調べた連載の第8回。雑誌「小国民」1896年7月號に掲載された記事から一高と外国人チームとの最初の野球試合を紹介したもの 東京日日新聞
16 09	1937.03.14	—41歳—	本朝「野球學、事始め⑨」 “決死の十二騎 横濱へ押し寄す、 軍記そつくりの記事	新聞	東京日日新聞	(21778)[朝刊 09面]	明治期の野球史を調べた連載の第9回。明治30年に創刊された雑誌「運動界」の記事を紹介したもの 東京日日新聞

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
16 10	1937.03.15 —41歳—		本朝“野球學、事始め ⑩	新聞	東京日日新聞	(21779)[朝刊 09面] 東京日日新聞	明治期の野球史を調べた連載の第10回。1902年10月に発行された『野球』(中馬庚[著]青井鉞男[増補])などの紹介
	野球	国会	生命を的に 壮烈な往時の練習				
16 11	1937.03.16 —41歳—		本朝“野球學、事始め ⑪	新聞	東京日日新聞	(21780)[朝刊 11面] 東京日日新聞	明治期の野球史を調べた連載の第11回。雑誌「兵庫縣尋常中學校校友會々報」第15號(明治30年6月発行)に掲載された熊本五高と山口高校の野球試合の記事の紹介など
	野球	国会	ミット排斥 痛さを耐へる訓練				
16 12	1937.03.17 —41歳—		本朝“野球學、事始め ⑫	新聞	東京日日新聞	(21781)[朝刊 11面] 東京日日新聞	明治期の野球史を調べた連載の第12回。『新式ベースボール術』(高橋雄次郎[著]1898年6月発行)などの紹介
	野球	国会	ボール張替 ミットもお手袋で				
16 13	1937.03.18 —41歳—		本朝“野球學、事始め ⑬	新聞	東京日日新聞	(21782)[朝刊 11面] 東京日日新聞	明治期の野球史を調べた連載の第13回。雑誌「桐陰會雜誌」や『最新ベースボール術』(1898年8月発行)などの紹介
	野球	国会	寺内中堅手 元陸相も昔日の花形				
16 14	1937.03.19 —41歳—		本朝“野球學、事始め ⑭	新聞	東京日日新聞	(21783)[朝刊 09面] 東京日日新聞	明治期の野球史を調べた連載の第14回。1899年9月発行『ベースボール及クリケット』などの紹介
	野球	国会	野球から生れた わが國のスポーツ文學				
16 15	1937.03.20 —41歳—		本朝“野球學、事始め ⑮	新聞	東京日日新聞	(21784)[朝刊 13面] 東京日日新聞	明治期の野球史を調べた連載の第15回。1901年10月に発行された高橋雄次郎[著]『ベースボール術秘訣』などの紹介
	野球	国会	一高の不正摘發 完譯ルール出現の動機となる				
16 16	1937.03.21 —41歳—		本朝“野球學、事始め ⑯	新聞	東京日日新聞	(21785)[朝刊 09面] 東京日日新聞	明治期の野球史を調べた連載の第16回。1903年の2月に発行された一高の「野球部史」と美満津商店が発行していた『野球年報』などの紹介
	野球	国会	規則翻譯に着手 あゝそれなのに一杯喰ふ				
16 17	1937.03.22 —41歳—		本朝“野球學、事始め ⑰	新聞	東京日日新聞	(21786)[朝刊 09面] 東京日日新聞	明治期の野球史を調べた連載の第17回。1905年1月に発行された愛知一中學友會[編纂]『野球使用』などの紹介
	野球	国会	これぞ誠の“事始め、 驚嘆すべき“野球使用、の科學性				
17	1937.06.01 —41歳—		掘出し物語	雑誌	書物展望	07(06)[058~059] 書物展望社	「犀斗寒朗」の筆名で古書収集のエピソードを書いた随筆
	古書	国会					
18	1938.03.01 —42歳—		滬遊雜吟 (逸文抄十四その一)	雑誌	書物展望	08(03)[006] 書物展望社	当時は知られていなかった永井荷風の初期の作品を発掘し紹介したもの
	文学	国会					

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
19	1938.10.01	—43歳—	日本に於ける最初の の映畫興行記録	雑誌	日本映畫	03(10)[102~105] 大日本映畫協	明治時代の雑誌に掲載 されていた記録などから 日本での初期の映画史を 調べたもの
	映画	国会					
20	1939.02.01	—43歳—	東京に於ける最初の ヴァイタスコープ興行 記録	雑誌	日本映畫	04(02)[110~113] 大日本映畫協	東京における最初の 映画興行の記録を 紹介したもの
	映画	国会					
21 01	1939.03.26	—43歳—	日本最初の野球の書 ⊕ わが野球史上の“大事件”、 出版の動機— 一高、外人軍を大破	新聞	讀賣新聞	(22328)[朝刊 04面] 讀賣新聞社	『ベースボール術』(1896年/ 高橋慶太郎)を入手した経緯 や内容などを書いた連載の 第1回
	野球	国会					
21 02	1939.03.27	—43歳—	日本最初の野球の書 ⊙ 著者も現存、偶然の発見	新聞	讀賣新聞	(22329)[朝刊 04面] 讀賣新聞社	『ベースボール術』(1896年/ 高橋慶太郎)を入手した経緯 や内容などを書いた連載の 第2回
	野球	国会					
21 03	1939.03.28	—43歳—	日本最初の野球の書 ⊖ 中馬氏より一年前の出版 まさに日本最初の野球専門書	新聞	讀賣新聞	(22330)[朝刊 04面] 讀賣新聞社	『ベースボール術』(1896年/ 高橋慶太郎)を入手した経緯 や内容などを書いた連載の 第3回
	野球	国会					
22	1939.06.01	—43歳—	活動寫眞渡來 以前の文献	雑誌	日本映畫	04(06)[102~105] 大日本映畫協	「日本映画史」三部作 ともいべき著作の 三作目
	映画	国会					
23	1939.08.26	—44歳—	日本 野球文献解題	著書	日本 野球文献解題	[序, 001~054, 正誤] 齋藤三郎	明治~大正末年までの野球 関係の書籍174冊に解題を つけ紹介した研究書 (54p 23cm)
	野球	国会					
24 01	1939.12.15	—44歳—	野球の渡來年代に就て ① 確たる記録なし 傳へられる三つの説	新聞	讀賣新聞	(22590)[朝刊 04面] 讀賣新聞社	日本への野球の渡來年代を 1872(明治5)年とする自説を はじめて発表した連載記事の 第1回
	野球	国会					
24 02	1939.12.16	—44歳—	野球の渡來年代に就て ② ウイルソンの餘技 神田開成校に誕生 五六年説文献 野球の來歴	新聞	讀賣新聞	(22591)[朝刊 04面] 讀賣新聞社	日本への野球の渡來年代を 1872(明治5)年とする自説を はじめて発表した連載記事の 第2回
	野球	国会					
24 03	1939.12.17	—44歳—	野球の渡來年代に就て ③ “球の虫”、三人組 初めてやつた人々素描	新聞	讀賣新聞	(22592)[朝刊 04面] 讀賣新聞社	日本への野球の渡來年代を 1872(明治5)年とする自説を はじめて発表した連載記事の 第3回
	野球	国会					

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
24 04	1939.12.18 —44歳—	野球	国会	野球の渡来年代に就て ④ 明治七年 牧野伯輸入説 最古の五年説確證欲し	新聞	読賣新聞 (22592)[朝刊 04面] 読賣新聞社	日本への野球の渡来年代を 1872(明治5)年とする自説を はじめて発表した連載記事の 第4回
25	1940.10.01 —45歳—	文学	国会	投書家時代の荷風の 作品(逸文)	雑誌	書物展望 10(10) [082~087, 090] 書物展望社	永井荷風の「花籠」と 「かたわれ月」という 2作品を紹介したもの
26	1942.01.15 —46歳—	野球	国会	素手時代の少年野球 [練成の野球]	雑誌	野球界 32(02)[104~107] 野球界社	自分自身が少年時代に 体験した野球の思い出を 綴った読物
27 01	1942.02.09 —46歳—	文学	国会	『敵は幾万』 と美妙 一	新聞	都新聞 (19506)[朝刊 06面] 都新聞社	山田美妙の「敵は幾万」に まつわる自分自身の逸話 などを書いた連載の第1回
27 02	1942.02.10 —46歳—	文学	国会	『敵は幾万』 と美妙 二	新聞	都新聞 (19507)[朝刊 06面] 都新聞社	山田美妙の「敵は幾万」に まつわる自分自身の逸話 などを書いた連載の第2回
27 03	1942.02.11 —46歳—	文学	国会	『敵は幾万』 と美妙 三	新聞	都新聞 (19508)[朝刊 06面] 都新聞社	山田美妙の「敵は幾万」に まつわる自分自身の逸話 などを書いた連載の第3回
28	1942.02.15 —46歳—	野球	国会	『野球』 命名前後	雑誌	野球界 32(04)[156~158] 野球界社	「野球」という訳語が できた頃の様子を 問答形式で書いた読物
29	1942.02.20 —46歳—	啄木	国会	文獻 石川啄木	著書	文獻 石川啄木 [001~341] 青磁社	啄木研究に関する最初の 著書。「跋」の執筆日付は 1942年01月30日 (341p 22cm)
30	1942.05.01 —46歳—	野球	国会	一高野球部の精神 [野球練成物語]	雑誌	野球界 32(09)[109~116] 野球界社	1890年の一高と明治 学院の試合中におきた 「インブリー事件」などを 題材とした読物
31	1942.05.18 —46歳—	啄木	国会	續 文獻 石川啄木	著書	續 文獻 石川啄木 [001~339] 青磁社	啄木研究に関する2冊目の 著書。「跋」の執筆の日付は 1942年04月13日 (339p 22cm)

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
32	1942.06.15 —46歳—	野球	国会	脚絆草鞋掛けの野球 —高覇権確立の鍵—	雑誌	野球界 32(12)[091~094] 野球界社	1890年頃の東京 周辺の学生野球を 題材とした読物
33	1942.07.01 —46歳—	野球	国会	精神野球酣の頃 (覇者—高悲憤の雪辱)	雑誌	野球界 32(13)[089~093] 野球界社	1893年の—高と 慶応の2試合を 題材とした読物
34	1942.12.01 —47歳—	歴史	国会	板垣退助氏が語る —中江兆民の臨終 に就て—	雑誌	書物展望 12(12)[071~075] 書物展望社	「萬朝報」紙に掲載された という板垣退助の手記「中江氏 の臨終に就て」を紹介したも の
35	1943.02.01 —47歳—	野球	国会	野球文献解題	雑誌	相撲と野球 (「野球界」改題) 33(04)[080~088] 博文館	明治期の野球史に関して 「本朝 “野球學、事始め」を 発表した以後の研究成果
36	1943.04.01 —47歳—	野球	国会	野球理論確立の情熱 (野球文献解題2)	雑誌	相撲と野球 (「野球界」改題) 33(07)[102~106] 博文館	『新式ベースボール術』 (1898年/高橋雄次郎)を はじめ10冊の野球書を 紹介・解説したもの
37	1943.06.01 —47歳—	野球	国会	—高時代の野球 —野球文献史解題3—	雑誌	相撲と野球 (「野球界」改題) 33(11)[068~072] 博文館	守山恒太郎の著書 『野球之友』(1903年) など3冊の野球書籍を 紹介・解説したもの
38	1943.07.01 —47歳—	文学	国会	鏡花の逸文 『僕の迷信』に就て	雑誌	書物展望 13(07)[045~046] 書物展望社	泉鏡花の作品を 発掘して紹介した もの
39	1946.06.15 —50歳—	啄木	国会	『悲しき玩具』の 決定版に就て	編著	決定版 悲しき玩具 [101~108] 虹書房	8頁にわたる『悲しき玩具』 の「解説」。執筆の日付は 1946年05月20日 (108p 16cm)
40	1946.06.20 —50歳—	啄木	国会	解題 『啄木歌集』	編著	啄木歌集 (岩波文庫) [285~301] 岩波書店	編者として、285~301頁に かけて解説。執筆日付は 1946年01月05日 (301p 15cm)
41	1946.11.25 —51歳—	啄木	国会	啄木と故郷人 〈學藝選書—1—〉	著書	啄木と故郷人 〈學藝選書—1—〉 [001~301] 光文社	啄木研究に関する3冊目 の著書。「跋」を執筆した 日付は1946年03月15日 (301p 19cm)

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
42	1948.01.01 —52歳—	野球 国会	野球綺談	雑誌	ベースボール・マガジン	1890年のアメリカでの珍プレーと大正初期に早稲田大学で活躍した八幡恭助選手の逸話	
					03(01)[045]	ベースボール・マガジン社	
43	1948.01.28 —52歳—	啄木 日文	定本 「啄木歌集」 に就て	編著	定本 啄木歌集 [239~248]	「校訂者」として解説をしたもの。この本は1949年11月18日には梅花書院からも発行されている執筆日付は1947年05月18日(248p 19cm)	
					白桃書房		
44	1948.02.01 —52歳—	野球 国会	野球 むかしばなし	雑誌	ジュニア・ベースボール	野球が伝来した初期の逸話を少年向けに書いた読み物	
					01(02)[010-012]		恒文社
45	1948.04.01 —52歳—	野球 国会	日本のクーパース・タウンはどこか	雑誌	ベースボール・マガジン	日本への野球伝来に関する時期や場所などについて自論を書いたもの	
					03(04)[027]		ベースボール・マガジン社
46 01	1948.09.01 —53歳—	野球 国会	野球千夜一夜 ボールの行方不明 驚異的な打率	雑誌	野球界	野球に関する様々な逸話を綴った読物。3年以上の長期連載の第1回。大リーグ選手(ハンス・ワグナー、タイ・カップ)の逸話を紹介	
					38(09)[028~029]		博友社
46 02	1948.10.01 —53歳—	野球 国会	野球千夜一夜 片手の大投手	雑誌	野球界	野球に関する逸話を綴った連載の第2回。大正8・9年頃に東京のクラブチーム(オーロラ倶楽部)で活躍した伊佐野投手の逸話	
					38(10)[022~023]		博友社
46 03	1948.11.01 —53歳—	野球 国会	野球千夜一夜 三振か本壘か	雑誌	野球界	野球に関する逸話を綴った連載の第3回。アメリカ大リーグの試合でおこった珍プレーの紹介	
					38(11)[024~025]		博友社
46 04	1948.12.01 —53歳—	野球 国会	野球千夜一夜 大井の猛打 奇想天外な練習法	雑誌	野球界	野球に関する様々な逸話を綴った連載の第4回。早稲田大学の元選手・大井齋とアメリカの野球チームの変わった練習方法など	
					38(12)[026~027]		博友社
46 05	1949.01.01 —53歳—	野球 国会	野球千夜一夜 「逃げたら罰金だぞ」 ミットの発明者	雑誌	野球界	野球に関する逸話を綴った読物の第5回。アメリカ大リーグの「デボー」選手の逸話と捕手用ミットが発明された経緯について	
					39(01)[032~033]		博友社
46 06	1949.02.01 —53歳—	野球 国会	野球千夜一夜 マスクをかけた一壘手 自動車と乳母車	雑誌	野球界	野球に関する逸話を綴った連載の第6回。大正期に早稲田大学で活躍した水原義雄選手の逸話とアメリカ・大リーグの熱烈なファンのエピソードなどを紹介	
					39(02)[044~045]		博友社

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
47 01	1949.02.07	—53歳—	石川啄木における 思想的詩歌の發展 (上)	新聞	週刊労働	(98)[02面] 日本労政協會	石川啄木の短歌のうち 「思想的傾向の濃い作品を 年代順に拾い出し」て 解説した評論の第1回
47 02	1949.02.14	—53歳—	石川啄木における 思想的詩歌の發展 (下)	新聞	週刊労働	(99)[02面] 日本労政協會	石川啄木の短歌のうち 「思想的傾向の濃い作品を 年代順に拾い出し」て 解説した評論の第2回
46 07	1949.03.01	—53歳—	野球千夜一夜 一人で三重殺 球神大に怒る (タイ・カップの痛打)	雑誌	野球界	39(03)[038~039] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載 の第7回。アメリカでのトリプル プレーの逸話とタイ・カップに関 するエピソードなど
46 08	1949.04.01	—53歳—	野球千夜一夜 ホンスビーの復讐 夜間試合の嚆矢?	雑誌	野球界	39(04)[038~039] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載 の第8回。アメリカ・大リーグの 選手ロジャー・ホンスビーの逸 話と最初のナイトゲームについ て
48 01	1949.04.25	—53歳—	與謝野晶子の長詩 『君死に給ふこと勿れ』 に就て(上)	新聞	週刊労働	(109)[02面] 日本労政協會	与謝野晶子の作品「君死に 給ふこと勿れ」の芸術性など について述べた評論の第1 回
46 09	1949.05.01	—53歳—	野球千夜一夜 前代未聞の始球式 短時間試合のレコード	雑誌	野球界	39(05)[032~033] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載 の第9回。大隈重信の始球式で の逸話や明倫中學と神戸商業 との短時間試合などの紹介
48 02	1949.05.02	—53歳—	與謝野晶子の長詩 『君死に給ふこと勿れ』 に就て(下)	新聞	週刊労働	(110)[02面] 日本労政協會	与謝野晶子の作品「君死 に給ふこと勿れ」に関する 評論の第2回。執筆の日 付は1949年03月06日
46 10	1949.06.01	—53歳—	野球千夜一夜 試合最中の立眠り	雑誌	野球界	39(06)[040~041] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載 の第10回。クリーブランド・イン ディアンスのポコ・チャイルド選 手の若き日のエピソードなど
46 11	1949.07.01	—53歳—	野球千夜一夜 怪紳士の豫言	雑誌	野球界	39(07)[032~033] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載 の第11回。ボストン・レッドソク スのジェニング監督のエピソード についてなど
46 12	1949.08.01	—53歳—	野球千夜一夜 攻守の達人ワグナー	雑誌	野球界	39(08)[030~031] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載 の第12回。ピッツバーグ・パイ レーツのハンス・ワグナー選手 についてのエピソードなど

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
46 13	1949.09.01 —54歳—		野球千夜一夜 アムパイヤー杯食はさる ジョンソンのスモークボール (お前はメクラカ) 馬車馬のやうなランナー	雑誌	野球界		野球に関する逸話を綴った読物の第13回。ワシントン・セネターズのウォルター・ジョンソン投手についてのエピソードなど
	野球	国会	39(09)[034~035]		博友社		
49 01	1949.09.12 —54歳—		謎の放浪詩人 『蘇蔓殊』について【一】	新聞	週刊労働		中国人の詩人「蘇蔓殊」に関し考証随筆風に書いた連載の第1回
	文学	労研	(127)[02面]		日本労政協會		
49 02	1949.09.19 —54歳—		謎の放浪詩人 『蘇蔓殊』について【二】	新聞	週刊労働		中国人の詩人「蘇蔓殊」に関し考証随筆風に書いた連載の第2回
	文学	労研	(128)[02面]		日本労政協會		
49 03	1949.09.26 —54歳—		謎の放浪詩人 『蘇蔓殊』について【三】	新聞	週刊労働		中国人の詩人「蘇蔓殊」に関し考証随筆風に書いた連載の第3回
	文学	労研	(129)[02面]		日本労政協會		
46 14	1949.10.01 —54歳—		野球千夜一夜 驚くべき谷口の遠投	雑誌	野球界		野球に関する逸話を綴った連載の第14回。谷口五郎投手(早稲田大学)のエピソードなどを紹介
	野球	国会	39(11)[034~035]		博友社		
49 04	1949.10.03 —54歳—		謎の放浪詩人 『蘇蔓殊』について【完】	新聞	週刊労働		中国人の詩人「蘇蔓殊」に関し考証随筆風に書いた連載の第4回。執筆日付は1949年08月03日
	文学	労研	(130)[02面]		日本労政協會		
46 15	1949.11.01 —54歳—		野球千夜一夜 記録的な大スコア 隻脚の名外野手 (驚くべきフアインプレー)	雑誌	野球界		野球に関する逸話を綴った読物の第15回。アメリカでの大量得点試合やジョージ・アルバートソン選手についての逸話など
	野球	国会	39(12)[042~043]		博友社		
50	1949.11.18 —54歳—		定本 「啄木歌集」 に就て	編著	定本 啄木全歌集		「校訂者」として解説をしている。1948年1月に白桃書房から発行されたものとほぼ同じ内容。執筆日付も1947年05月18日(248p 18cm)
	啄木	日文	[239~248]		梅花書院		
46 16	1949.12.01 —54歳—		野球千夜一夜 これが本當の鐵腕投手 キック・エンド・ラン	雑誌	野球界		野球に関する逸話を綴った読物の第16回。アメリカでの投手の連投のエピソードとタイ・カップの走塁についての逸話など
	野球	国会	39(13)[036~037]		博友社		
46 17	1950.01.01 —54歳—		野球千夜一夜 ファンの殉死哀れ 屋上から眞逆様 無人のダブル・プレー	雑誌	野球界		野球に関する逸話を綴った読物の第17回。アメリカのワールド・シリーズでのファンの逸話とアメリカでの珍プレーの紹介など
	野球	国会	40(01)[066~067]		博友社		

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
51	1950.01.16	—54歳—	再び 「蘇蔓殊」 に就て	新聞	週刊労働	(143)[02面] 日本労政協会	「蘇蔓殊」についての思い 違いを訂正したもの。執筆 日付は1949年12月15日
46 18	1950.02.01	—54歳—	野球千夜一夜 狙い打ちの秘訣 狼狽てなさんな	雑誌	野球界	40(02)[048~049] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載 の第18回。タイ・カップの打撃に ついてのエピソードとアメリカの 大リーグでの珍プレーの紹介
46 19	1950.03.01	—54歳—	野球千夜一夜 投手の最大球速 一念発起したカッブ	雑誌	野球界	40(03)[062~063] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載の 第19回。ウォルター・ジョンソン投 手の球速の測定とタイ・カップにつ いての逸話など
46 20	1950.04.01	—54歳—	野球千夜一夜 驚嘆したカッブの走塁	雑誌	野球界	40(04)[072~073] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載 の第20回。タイ・カップの打撃や 走塁についての逸話など
46 21	1950.05.01	—54歳—	野球千夜一夜 初めての入場料 素晴らしいトリック	雑誌	野球界	40(05)[090~091] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載 の第21回。日本初の有料野球 試合とアメリカと日本のトリック プレーについての逸話など
46 22	1950.06.01	—54歳—	野球千夜一夜 列車本壘打球を乗せて走る —タイ・カップ奮戦のこと— 驚くべき遠距離猛打 「畜生、おだてるな」 鬼投手菊池	雑誌	野球界	40(06)[130~131] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載の 第22回。タイ・カップ、ハンス・ワグナー、 ペーブ・ルース、ジミー・フォックスなどの逸 話と明治時代の三高の菊池投手 についての逸話など
52	1950.06.01	—54歳—	蘇山人と その俳句	雑誌	現代俳句	05(04)[049~059] 現代俳句社	正岡子規に師事した中国人の 詩人・羅 蘇山人(1881-1902) の経歴や作品を紹介したもの 執筆日付は1949年12月05日
46 23	1950.07.01	—54歳—	野球千夜一夜 ストライキ悲話 人生意気に感ず ファウル・ボールの悪戯	雑誌	野球界	40(07)[130~131] 博友社	野球に関する逸話を綴った読物の 第23回。ニューヨーク・ジャイアンツのケリー 選手の逸話とハンス・ワグナーの契約 に関するエピソード、齋藤自身の 新國劇時代の逸話など
46 24	1950.08.01	—54歳—	野球千夜一夜 恐ろしくて、可笑しくて可哀そうなもの 偶然のいたずら 決闘状を突きつける これは耳寄りな話 とほうもない男	雑誌	野球界	40(08)[130~131] 博友社	野球に関する逸話を綴った読物の 第24回。ハンス・ワグナーのことや 大正10年頃の早稲田大学の紅白 戦の様子、アメリカ・大リーグでの ピンチヒッターの逸話など
46 25	1950.09.01	—55歳—	野球千夜一夜 友よ、私は行く 世界的な盗塁記録 驚くべき快技	雑誌	野球界	40(09)[130~131] 博友社	野球に関する逸話を綴った読物の第 25回。シカゴ・カブスのジュシュー・レイリー とジミー・コナー選手の逸話や1913 年に来日したトリス・スピーカーにつ いてのエピソードなど

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
46 26	1950.10.01 —55歳—		野球千夜一夜 生か？ 死か？(デッドボール秘話) 有り得べからざる事 野球と三の数字	雑誌	野球界	40(10)[130~131]	野球に関する逸話を綴った読物の第26回。デッドボールについてのアメリカと日本での逸話など
	野球	国会				博友社	
46 27	1950.11.01 —55歳—		野球千夜一夜 六大學リーグの發足 その頃のペーブ・ルース 四球か—三振か さすがに段違いだ 偶然のいたずら	雑誌	野球界	40(11)[130~131]	野球に関する逸話を綴った連載の第27回。東京三大學リーグ發足時(1914年)の入場料規約、ホストン・レッドソックス時代のペーブ・ルースの紹介記事など
	野球	国会				博友社	
46 28	1950.12.01 —55歳—		野球千夜一夜 荒つぽかつた昔の野球 日米遠投記録 ルースは何と言つた	雑誌	野球界	40(12)[130~131]	野球に関する逸話を綴った連載の第28回。1800年代の野球についてのエピソードやアメリカと日本の野球選手の遠投記録、ペーブ・ルースの逸話など
	野球	国会				博友社	
46 29	1951.01.01 —55歳—		野球千夜一夜 これが本當の犬と猿 國寶的な心臓 命あつての物種	雑誌	野球界	41(01)[130~131]	野球に関する逸話を綴った連載の第29回。球審と選手の不仲の逸話、太田四洲のこと、ホストン・レッドソックスのジョー・ルシー投手の逸話など
	野球	国会				博友社	
46 30	1951.02.01 —55歳—		野球千夜一夜 素手で難球をつかむ 心臓の強い審判 宮崎捕手 空前の名審判	雑誌	野球界	41(02)[130~131]	野球に関する逸話を綴った連載の第30回。1912年に来日したオール・マニラの選手の好プレー、観客席で審判をした球審、早稲田大学の宮崎捕手の逸話など
	野球	国会				博友社	
46 31	1951.03.01 —55歳—		野球千夜一夜 誤植恐るべし 六代目の野球 スライディングの代りにトンボ ホンスビーの初陣	雑誌	野球界	41(03)[130~131]	野球に関する逸話を綴った連載の第31回。アメリカ・大リーグのジャック・ヘントリックス選手の逸話、六代目尾上菊五郎、ロジャー・ホンスビーの逸話など
	野球	国会				博友社	
46 32	1951.04.01 —55歳—		野球千夜一夜 谷口投手阿修羅の奮闘 奪いたる三振二十有五 ワグナーは果して人間か？	雑誌	野球界	41(04)[128~129]	野球に関する逸話を綴った連載の第32回。早稲田大学の谷口投手の逸話、ハンス・ワグナー選手のエピソードなど
	野球	国会				博友社	
46 33	1951.05.01 —55歳—		野球千夜一夜 藝能人の野球 てんやわんやの大騒ぎ	雑誌	野球界	41(05)[128~129]	野球に関する逸話を綴った連載の第33回。大正10年頃の浅草の芸能人野球のエピソードなど
	野球	国会				博友社	
46 34	1951.06.01 —55歳—		野球千夜一夜 拳闘？野球？ 比・布對戦 走者ノックアウト あわや大乱闘 ブードロー戦法	雑誌	野球界	41(06)[128~129]	野球に関する逸話を綴った連載の第34回。1926年におこなわれたフィリピンチームとホワイトチームとの試合での逸話とテッド・ウィリアムスの打撃への対策のことなど
	野球	国会				博友社	
46 35	1951.07.01 —55歳—		野球千夜一夜 あゝ！運命の一球 成層圈的猛飛球 神宮球場の太陽安打	雑誌	野球界	41(07)[124~125]	野球に関する逸話を綴った連載の第35回。1917年の夏の全国中等学校野球大会での逸話と新國劇での齋藤自身のエピソードなど
	野球	国会				博友社	

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
46 36	1951.08.01 —55歳—	野球 国会	野球千夜一夜 菅瀬十九回を完投す 英雄からバカヤロー	雑誌	野球界	41(08)[124~125] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載の第36回。1909年の慶應義塾とウイスコンシン大学との試合での菅瀬一馬の逸話とアメリカの野球試合でエピソードなど
53	1951.08.15 —55歳—	啄木 労研	啄木と 労働の歌	新聞	週刊労働	(240)[02面] 日本労政協會	石川啄木の作品が「激しい人間愛と世にも稀な誠実」さによってつくられたことを論じた短い評論
46 37	1951.09.01 —56歳—	野球 国会	野球千夜一夜 乃木大将と野球 沢正のバッティング —机龍之介そつくり—	雑誌	野球界	41(09)[128~129] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載の第37回。乃木希典(学習院長)や新國劇の澤田正二郎についてのエピソードの紹介など
46 38	1951.10.01 —56歳—	野球 国会	野球千夜一夜 マッキー投手の怪腕 口は禍の門	雑誌	野球界	41(10)[124~125] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載の第38回。アメリカ・シアトルの日本人球団「美香登(ミカト)倶楽部」のマッキー投手や齋藤三郎自身のエピソードなど
46 39	1951.11.01 —56歳—	野球 国会	野球千夜一夜 心臓の強いアンパイア 失策の悲劇 兄弟チーム	雑誌	野球界	41(11)[124~125] 博友社	野球に関する逸話を綴った連載の第39回。若い頃の齋藤自身のエピソードの紹介など
54 01	1952.03.01 —56歳—	野球 国会	野球文献史話 ① 野球はこうして伝わり 神田一ツ橋広場で行われた	雑誌	読賣スポーツ	05(03)[072~075] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第1回。生れはイギリス／「好球生」の貴重な投書／明治六年渡來説は疑問／石藤博士大いに叱る など伝來初期の状況について
54 02	1952.04.01 —56歳—	野球 国会	野球文献史話 ② 一試合半日がかかり 休憩入り古式野球	雑誌	読賣スポーツ	05(04)[050~052] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第2回。珍重された野球用具／現在と大差ないルール／進歩的な「戸外遊技法」など1886年頃までの野球の状況について
54 03	1952.05.01 —56歳—	野球 国会	野球文献史話 ③ 一高を騒がせた イムブリー事件	雑誌	読賣スポーツ	05(06)[071~073] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第3回。天馬空をゆく一高／対明治学院戦が発端／正岡子規のノートなど1890年のインブリー事件について
54 04	1952.06.01 —56歳—	野球 国会	野球文献史話 ④ 「魔球」完成への苦心	雑誌	読賣スポーツ	05(07)[072~074] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第4回。「野球」命名事情／ディレード・スチールとバントの始め／福島金馬投手の怪腕など明治20年代の一高野球について
55	1952.06.05 —56歳—	啄木 国会	解説 『青春の譜』	編著	『啄木全集16 青春の譜』 [193~199] 河出書房	石川啄木の「書簡集」について7頁にわたり 問答形式により解説したもの(199p 19cm)	

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
54 05	1952.07.01 —56歳—	野球 国会	野球文献史話 ⑤ 一高対外人クラブ戦の前夜	雑誌	読賣スポーツ 05(08)[071~073] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第5回。 “国際試合の始まり、／思わぬ 大勝に狂喜／野球専門書の出現 など1896年の一高と外国人チーム との野球試合について	
56	1952.07.01 —56歳—	啄木 国会	啄木の俳句	雑誌	俳句研究 09(07)[045~046] 俳句研究社	石川啄木の 俳句作品に ついて述べた評論	
54 06	1952.08.01 —56歳—	野球 国会	野球文献史話 6 新聞にモテた国際試合	雑誌	読賣スポーツ 05(09)[064~065] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第6回。 くやしがる外人／一高遂に敗る/ 敗戦の教訓／用具の値段調べ など明治30年頃までの日本の 野球状況について	
54 07	1952.09.01 —57歳—	野球 国会	野球文献史話 (7) 生命がけの一高式野球	雑誌	読賣スポーツ 05(10)[071~073] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第7回。 名著「野球」のこと／最初の総合 雑誌「運動界」／学生野球の沿 革など明治30年代の日本野球 状況について	
54 08	1952.10.01 —57歳—	野球 国会	野球文献史話 ⑧ 用心棒つきの少年野球	雑誌	読賣スポーツ 05(11)[117~119] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第8回。 一高の不正用球事件／これが 秘法の真相／荒っぽかった 少年野球など明治30年代の 日本の野球状況について	
57	1952.10.15 —57歳—	啄木 国会	解題 『石川啄木詩集』	編著	石川啄木詩集 (角川文庫) [206~213] 角川書店	8頁にわたる対話形式の解説を 書いたもの。1951年11月01日の 執筆日付(213p 15cm)	
58	1952.10.31 —57歳—	啄木 国会	解説 『石川啄木 全歌集』	編著	石川啄木 全歌集 [259~264] 細川書店	編纂者として「解説」を書いた もの。1950年12月15日の執筆 日付(279p 19cm)	
54 09	1952.11.01 —57歳—	野球 国会	野球文献史話 ⑨ 一高盛衰史の1ページ	雑誌	読賣スポーツ 05(12)[071~073] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第9回。 一高の王座に暗い影／天才守山 投手の出現／四球敬遠戦法の 元祖は？ など明治30年代頃 の日本の野球状況について	
54 10	1952.12.01 —57歳—	野球 国会	野球文献史話 ⑩ 早慶大学台頭す	雑誌	読賣スポーツ 05(13)[095~097] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第10回。 投手の受難時代／変則的投球 ／早慶台頭の原因／四、一高の 凋落など明治30年代後半頃の 日本の野球状況について	
54 11	1953.01.01 —57歳—	野球 国会	野球文献史話 ⑪ 生きている『野球虎の巻』	雑誌	読賣スポーツ 06(01)[111~113] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第11回。 「野球年報」の功績／愛知一中と 「野球使用」／早大の米国遠征と 「最近野球術」など明治30年代 後半の野球状況について	

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
54 12	1953.01.05 —57歳—		野球文献史話 ⑫	雑誌	読賣スポーツ	06(02)[111~113] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第12回。 「突如、応援隊の出現」/河野の ディレード・スチール/ついに試合 中止 など明治30年代後半頃の 日本の野球状況について
	野球	国会	早慶応援合戦始末記				
54 13	1952.02.05 —57歳—		野球文献史話 ⑬	雑誌	読賣スポーツ	06(03)[111~113] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第13回。 入場料徴収第一号 / ゴルフ・ スウィング論の提唱 / なぐられた ファンなど明治40年代の野球状況 について
	野球	国会	てんやわんや 外人チーム初来訪				
54 14	1953.03.01 —57歳—		野球文献史話 14	雑誌	読賣スポーツ	06(04)[111~113] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第14回。 野球創始についての論争 / 大隈 さんの珍始球式 / 明大野球部を 創立 など明治40年代の日本の 野球状況について
	野球	国会	明大台頭のうら話				
54 15	1953.04.01 —57歳—		野球文献史話 ⑮	雑誌	読賣スポーツ	06(06)[122~125] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第15回。 急先鋒の新渡戸博士 / 大勢占め た害毒論 / 天狗クラブの活躍 / 信念の人押川春浪など明治40年 代の野球状況について
	野球	国会	野球害毒論の提唱				
59	1953.04.25 —57歳—		近代打法私見	新聞	スポーツ毎日	06(18)[09面] 毎日新聞社	「毎日スポーツ」紙に 掲載された森秀雄の随想 「重心のコツ」への反響と して寄稿した評論
	野球	国会					
54 16	1953.05.01 —57歳—		野球文献史話 ⑯	雑誌	読賣スポーツ	06(07)[064~065] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第16回。 スピーカーの妙技 / 芝—麻布間 の本壘打 / 史上まれな珍事件 など明治40年代から大正初期の 日本の野球状況について
	野球	国会	両区に跨る本壘打 用語も奇 “黒船時代、				
60	1953.05.16 —57歳—		神宮球場の 旋風児	新聞	スポーツ毎日	06(22)[05面] 毎日新聞社	砂押監督が率いる立教 大学の野球部の練習 風景や活躍などに ついて綴った随筆
	野球	国会					
54 17	1953.06.01 —57歳—		野球文献史話 ⑰	雑誌	読賣スポーツ	06(08)[064~065] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第17回。 三大学リーグ出来る / 空前の 強打者「趙子倫」など大正初期の 日本の野球状況について
	野球	国会	法政大学台頭す				
54 18	1953.07.01 —57歳—		野球文献史話 18	雑誌	読賣スポーツ	06(09)[064~065] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第18回。 “着眼凡ならぬ、野次 / 一高・ 三高の応援合戦 / 初期の早慶 応援歌 など明治期から大正期 にかけての野球の応援について
	野球	国会	野次と応援歌				
54 19	1953.08.01 —57歳—		野球文献史話 19	雑誌	読賣スポーツ	06(10)[056~057] 読賣新聞社	野球史研究の代表作の第19回。 “野球狂、の子規 / 微笑の 川柳 など野球を題材にした文学 について
	野球	国会	野球と文学				

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
61 01	1953.09.25 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第一巻 歌集	編著	『啄木全集』 第一巻		岩波書店版『啄木全集』第一巻の 編纂者として「あとがき」を執筆。 1953年08月26日の執筆日付 (221p 18cm)
	啄木	国会			01[215~221]	岩波書店	
61 02	1953.09.25 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第二巻 詩集一	編著	『啄木全集』 第二巻		岩波書店版『啄木全集』第二巻の 編纂者として「あとがき」を執筆。 1953年09月03日の執筆日付 (229p 18cm)
	啄木	国会			02[223~229]	岩波書店	
62	1953.09.26 —58歳—		外野席から 審判へ	新聞	スポーツ毎日		外野席から見た球審 の投球判定の問題点 などを指摘した随筆
	野球	国会			06(41)[4面]	毎日新聞社	
61 04	1953.10.26 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第四巻 小説一	編著	『啄木全集』 第四巻		岩波書店版『啄木全集』第四巻の 編纂者として「あとがき」を執筆。 1953年09月30日の執筆日付 (206p 18cm)
	啄木	国会			04[201~206]	岩波書店	
61 08	1954.10.26 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第八巻 感想・評論一	編著	『啄木全集』 第八巻		岩波書店版『啄木全集』第八巻の 編纂者として「あとがき」を執筆。 1953年10月07日の執筆日付 (186p 18cm)
	啄木	国会			08[181~186]	岩波書店	
63	1953.11.07 —58歳—		バッティング論 近代打法と早稲田式	新聞	スポーツ毎日		「近代打法私見」の 続編ともいべき打撃 理論に関する評論
	野球	国会			06(47)[8面]	毎日新聞社	
61 11	1953.11.25 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第十一巻 書簡一	編著	『啄木全集』 第十一巻		岩波書店版『啄木全集』第十一 巻の編纂者として「あとがき」を 執筆。1953年10月21日の執筆 日付 (222p 18cm)
	啄木	国会			11[217~222]	岩波書店	
61 13	1953.11.25 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第十三巻 日記一	編著	『啄木全集』 第十三巻		岩波書店版『啄木全集』第十三 巻の編纂者として「あとがき」を 執筆。1953年11月04日の執筆 日付 (190p 18cm)
	啄木	国会			13[185~190]	岩波書店	
61 03	1953.12.23 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第三巻 詩集二	編著	『啄木全集』 第三巻		岩波書店版『啄木全集』第三巻の 編纂者として「あとがき」を執筆。 1953年12月02日の執筆日付 (189p 18cm)
	啄木	国会			03[181~189]	岩波書店	
61 05	1953.12.23 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第五巻 小説二	編著	『啄木全集』 第五巻		岩波書店版『啄木全集』第五巻の 編纂者として「あとがき」を執筆。 1953年12月04日の執筆日付 (200p 18cm)
	啄木	国会			05[195~200]	岩波書店	

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
61 09	1954.01.25 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第九巻 感想・評論二	編著	『啄木全集』 第九巻		岩波書店版『啄木全集』第九巻の 編纂者として「あとがき」を執筆。 1953年12月26日の執筆日付 (219p 18cm)
	啄木	国会			09[213~219]	岩波書店	
61 12	1954.01.25 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第十二巻 書簡二	編著	『啄木全集』 第十二巻		岩波書店版『啄木全集』第十二 巻の編纂者として「あとがき」を 執筆。1953年12月28日の執筆 日付 1954年01月に追記を執筆 (233p 18cm)
	啄木	国会			12[227~233]	岩波書店	
61 06	1954.02.25 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第六巻 小説三	編著	『啄木全集』 第六巻		岩波書店版『啄木全集』第六巻の 編纂者として「あとがき」を執筆。 1954年02月08日の執筆日付 (195p 18cm)
	啄木	国会			06[183~195]	岩波書店	
61 14	1954.02.25 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第十四巻 日記二	編著	『啄木全集』 第十四巻		岩波書店版『啄木全集』第十四 巻の編纂者として「あとがき」を 執筆。1954年02月08日の執筆 日付 (173p 18cm)
	啄木	国会			14[163~173]	岩波書店	
61 07	1954.03.25 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第七巻 小説四	編著	『啄木全集』 第七巻		岩波書店版『啄木全集』第七巻の 編纂者として「あとがき」を執筆。 1954年03月の執筆日付 (195p 18cm)
	啄木	国会			07[189~195]	岩波書店	
61 10	1954.03.25 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第十巻 感想・評論三	編著	『啄木全集』 第十巻		岩波書店版『啄木全集』第十巻の 編纂者として「あとがき」を執筆。 1954年03月07日の執筆日付 (216p 18cm)
	啄木	国会			10[209~216]	岩波書店	
61 15	1954.05.05 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第十五巻 日記三	編著	『啄木全集』 第十五巻		岩波書店版『啄木全集』第十五 巻の編纂者として「あとがき」を 執筆。1954年04月05日の執筆 日付 (174p 18cm)
	啄木	国会			15[169~174]	岩波書店	
61 16	1954.05.05 —58歳—		あとがき 『啄木全集』 第十六巻 日記四	編著	『啄木全集』 第十六巻		岩波書店版『啄木全集』第十六 巻の編纂者として「あとがき」を 執筆。1954年04月20日の執筆 日付 (205p 18cm)
	啄木	国会			16[201~205]	岩波書店	
64	1954.06.05 —58歳—		小傳	編著	『啄木全集』別巻 啄木案内		石川啄木の評伝。この本は 1961年4月に新装版が出版 されている (215p 18cm)
	啄木	国会			[197~215]	岩波書店	
65	1955.10.01 —60歳—		蕪村と啄木	雑誌	俳句		与謝蕪村と石川啄木の 作品を比べ共通点や 相違点を書いた評論
	啄木	国会			04(12)[030~034]	角川書店	

No	発表年月日 —満年齢—		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
66	1956.04.10 —60歳—	啄木 国会	書評 岩城之徳著 『石川啄木伝』	雑誌	文学	24(04)[109~111] 岩波書店	岩城之徳の著書の特色と功績や今後の課題などを書いた書評
67	1956.11.30 —61歳—	啄木 国会	啄木文學散歩 —啄木遺跡を探る—	著書	角川新書 56	[001~202] 角川書店	啄木研究に関する4冊目の著書。「まえがき」の執筆日付は1956年08月26日(202p 18cm)
68	1957.08.06 —61歳—	啄木 国会	解題 『啄木歌集』	編著	『啄木歌集』 20版 改版	[325~342] 岩波書店	改版にあたり1957年06月12日に以前の「解題」を修正し書き直したもの(342p 15cm)
69	1957.10.01 —62歳—	啄木 国会	「所謂今度の事」についての一考察	雑誌	文学	25(10)[007~011] 岩波書店	新たに発見された啄木作品について書いた評論
70	1961.04.13 —没後—	啄木 国会	小傳	編著	新装版 『啄木案内』	[197~215] 岩波書店	1954年06月05日に出版された岩波書店版『啄木全集』別巻『啄木案内』の新装版に収録(235p 18cm)
71 01	1961.04.13 —没後—	啄木 国会	あとがき 新装版『啄木全集』 第一巻 歌集	編著	新装版『啄木全集』 第一巻	01[215~221] 岩波書店	1953年に出版された岩波書店版『啄木全集』第一巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1953年08月26日の執筆日付(221p 18cm)
71 02	1961.04.13 —没後—	啄木 国会	あとがき 新装版『啄木全集』 第二巻 詩集一	編著	新装版『啄木全集』 第二巻	02[223~229] 岩波書店	1953年に出版された岩波書店版『啄木全集』第二巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1953年09月03日の執筆日付(229p 18cm)
71 03	1961.05.10 —没後—	啄木 国会	あとがき 新装版『啄木全集』 第三巻 詩集二	編著	新装版『啄木全集』 第三巻	03[181~189] 岩波書店	1954年に出版された岩波書店版『啄木全集』第三巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1953年12月02日の執筆日付(189p 18cm)
71 04	1961.05.10 —没後—	啄木 国会	あとがき 新装版『啄木全集』 第四巻 小説一	編著	新装版『啄木全集』 第四巻	04[201~206] 岩波書店	1953年に出版された岩波書店版『啄木全集』第四巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1953年09月30日の執筆日付(206p 18cm)
71 05	1961.06.10 —没後—	啄木 国会	あとがき 新装版『啄木全集』 第五巻 小説二	編著	新装版『啄木全集』 第五巻	05[199~204] 岩波書店	1953年に出版された岩波書店版『啄木全集』第五巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1953年12月04日の執筆日付(204p 18cm)

No	発表年月日 — 満年齢 —		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
71 06	1961.06.10	あとがき — 没後 — 新装版『啄木全集』 第六巻 小説三	編著	新装版『啄木全集』 第六巻	06[183~195]	岩波書店	1954年に出版された岩波書店版『啄木全集』第六巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1954年02月08日の執筆日付(195p 18cm)
	啄木	国会					
71 07	1961.07.10	あとがき — 没後 — 新装版『啄木全集』 第七巻 小説四	編著	新装版『啄木全集』 第七巻	07[189~195]	岩波書店	1954年に出版された岩波書店版『啄木全集』第七巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1954年03月の執筆日付(195p 18cm)
	啄木	国会					
71 08	1961.07.10	あとがき — 没後 — 新装版『啄木全集』 第八巻 感想・評論一	編著	新装版『啄木全集』 第八巻	08[181~186]	岩波書店	1953年に出版された岩波書店版『啄木全集』第八巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1953年10月07日の執筆日付(186p 18cm)
	啄木	国会					
71 09	1961.08.10	あとがき — 没後 — 新装版『啄木全集』 第九巻 感想・評論二	編著	新装版『啄木全集』 第九巻	09[213~219]	岩波書店	1954年に出版された岩波書店版『啄木全集』第九巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1953年12月26日の執筆日付(219p 18cm)
	啄木	国会					
71 10	1961.08.10	あとがき — 没後 — 新装版『啄木全集』 第十巻 感想・評論三	編著	新装版『啄木全集』 第十巻	10[217~224]	岩波書店	1954年に出版された岩波書店版『啄木全集』第十巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1954年03月07日の執筆日付(232p 18cm)
	啄木	国会					
71 11	1961.08.10	追録(「所謂今度の事」 についての一考察) 新装版『啄木全集』 第十巻 感想・評論三	編著	新装版『啄木全集』 第十巻	10[224~232]	岩波書店	1954年に出版された岩波書店版『啄木全集』第十巻の新装版。「あとがき」のなかに追録として収録(232p 18cm)
	啄木	国会					
71 12	1961.09.11	あとがき — 没後 — 新装版『啄木全集』 第十一巻 書簡一	編著	新装版『啄木全集』 第十一巻	11[217~222]	岩波書店	1953年に出版された岩波書店版『啄木全集』第十一巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1953年10月21日の執筆日付(222p 18cm)
	啄木	国会					
71 13	1961.09.11	あとがき — 没後 — 新装版『啄木全集』 第十二巻 書簡二	編著	新装版『啄木全集』 第十二巻	12[235~241]	岩波書店	1954年に出版された岩波書店版『啄木全集』第十二巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1953年12月28日の執筆日付。1954年01月に追記を執筆(241p 18cm)
	啄木	国会					
71 14	1961.10.10	あとがき — 没後 — 新装版『啄木全集』 第十三巻 日記一	編著	新装版『啄木全集』 第十三巻	13[185~190]	岩波書店	1953年に出版された岩波書店版『啄木全集』第十三巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1953年11月04日の執筆日付(190p 18cm)
	啄木	国会					
71 15	1961.10.10	あとがき — 没後 — 新装版『啄木全集』 第十四巻 日記二	編著	新装版『啄木全集』 第十四巻	14[163~173]	岩波書店	1954年に出版された岩波書店版『啄木全集』第十四巻の新装版。編纂者として「あとがき」を執筆。1954年02月08日の執筆日付(173p 18cm)
	啄木	国会					

No	発表年月日 — 満年齢 —		タイトル	分類	掲載資料名		内容
	分野	所蔵			巻(号)[頁]	発行元	
71 16	1961.11.10 — 没後 —		あとがき 新装版『啄木全集』 第十五巻 日記三	編著	新装版『啄木全集』 第十五巻		1954年に出版された岩波書店版 『啄木全集』第十五巻の新装版。 編纂者として「あとがき」を執筆。 1954年04月05日の執筆日付 (174p 18cm)
	啄木	国会			15[169~174]	岩波書店	
71 17	1961.11.10 — 没後 —		あとがき 新装版『啄木全集』 第十六巻 日記四	編著	新装版『啄木全集』 第十六巻		1954年に出版された岩波書店版 『啄木全集』第十六巻の新装版。 編纂者として「あとがき」を執筆。 1954年04月20日の執筆日付 (205p 18cm)
	啄木	国会			16[201~205]	岩波書店	
72	1970.07.30 — 没後 —		啄木の伊藤公哀悼歌 と頽廢歌攻撃	叢書	石川啄木(日本文学 研究資料叢書)		昆豊の編集による 叢書のなかに収録
	啄木	国会			[275~282]	有精堂	
73	1972.09.15 — 没後 —		日本 野球文献解題	叢書	明治文化資料叢書 第十巻 スポーツ篇		木村毅の編集による 叢書のなかに収録
	野球	国会			10[310~333]	風間書房	
74	1983.11.18 — 没後 —		解題 『啄木歌集』	編著	『啄木歌集』 (岩波クラシックス49)		1957(昭和32)年に発行 された岩波文庫の復刻版。 1957年06月12日の執筆日付
	啄木	国会			[325~342]	岩波書店	
75	1984.05.25 — 没後 —		啄木の逸歌	雑誌	書物展望 復刻版 第六巻(下)		1936年8月に発行されたもの の復刻版。執筆をした日付は 1936年06月04日
	啄木	国会			06(下)[166~167]	臨川書店	
76	1984.05.25 — 没後 —		逸文抄(その十) 上海紀行	雑誌	書物展望 復刻版 第八巻(上)		1937年3月に発行 されたものの復刻版
	文学	国会			08(上)[274~278]	臨川書店	
77	1984.05.25 — 没後 —		掘出し物語	雑誌	書物展望 復刻版 第八巻(上)		1937年6月に発行 されたものの復刻版
	古書	国会			08(上)[544~545]	臨川書店	
78	1984.05.25 — 没後 —		滬遊雑吟 (逸文抄十四その一)	雑誌	書物展望 復刻版 第九巻(下)		1938年3月に発行 されたものの復刻版
	文学	国会			09(下)[186]	臨川書店	
79	1984.07.01 — 没後 —		投書家時代の荷風の 作品(逸文)	雑誌	書物展望 復刻版 第十巻(下)		1940年10月に発行 されたものの復刻版
	文学	国会			10(下) [348~353, 356]	臨川書店	

No	発表年月日 —満年齢—	タイトル	分類	掲載資料名		内容
				巻(号)[頁]	発行元	
分野		所蔵				
80	1984.07.01 —没後—	板垣退助氏が語る —中江兆民の 臨終に就て—	雑誌	書物展望 復刻版 第十二巻(下)	12(下)[501~505]	1942年12月に発行 されたものの復刻版
				臨川書店		
歴史		国会				
81	1984.07.01 —没後—	鏡花の逸文 『僕の迷信』に就て	雑誌	書物展望 復刻版 第十三巻(下)	13(下)[045~046]	1943年7月に発行 されたものの復刻版
				臨川書店		
文学		国会				
82	1999.11.01 —没後—	聞きがき 新選組秘話 綾瀬村の近藤勇 第一話	雑誌	歴史読本	44(13)[176~189]	執筆時には知られていなかった 「新選組」の逸話を取材したもの 初出や続編の有無などは不明。 執筆の日付は1934年03月25日
				新人物往来社		
歴史		国会				
83	2006.03.30 —没後—	綾瀬村の 近藤勇	書籍	『続 新選組史料集』	[213~227]	雑誌「歴史読本」(第44巻 第13号) に掲載されたものに解説と注記を つけて収録したもの。1934年03月 25日の執筆日付
				新人物往来社		
歴史		国会				

◇文章以外の著作(写真・座談会)と参考資料

No	発表年月日 —満年齢—	タイトル	分類	掲載資料名		内容
				巻(号)[頁]	発行元	
分野		所蔵				
84	1928.08.01 —32歳—	*【写真】 澤田と中井の角力勝負 (二色写真) 夏の旅・澤田正二郎の海水浴	雑誌	新國劇	(03)[口絵写真]	* 雑誌「新國劇」の 口絵写真に掲載された 写真2葉の撮影者
				新國劇事務所		
新国		日芸				
85	1928.10.01 —33歳—	*【写真】 馬上姿の澤田 (二色写真)	雑誌	新國劇	(04)[口絵写真]	* 雑誌「新國劇」の 口絵に掲載された 写真の撮影者
				新國劇事務所		
新国		日芸				
86	1929.01.01 —33歳—	*【座談会】 モデルの人 「オリンピック」の 鶴田選手を圍んで	雑誌	新國劇	(05)[012~013]	*鶴田義行(競泳のオリンピック 代表選手)、澤田正二郎など 6人が参加した座談会の出席者 のひとり
				新國劇事務所		
新国		日芸				
87	1939.04.01 —46歳—	*【座談会】 『脚光を浴びる啄木』 (前進座「若き啄木」 上演 記念 座談会)	雑誌	短歌研究	08(04)[115~134]	* 河原崎長十郎、森田草平、 中村翫右衛門など17名が 参加した座談会の出席者の ひとり
				改造社		
啄木		国会				
88	1954.06.05 —58歳—	*【座談会】 啄木の人と生活	編著	『啄木全集』別巻 啄木案内	[140~195]	*金田一京助、石川正雄など 9名が出席した座談会の 「司會」。1954年02月10日の 日付
				岩波書店		
啄木		国会				

No	発表年月日 —満年齢—	分野	所蔵	タイトル	分類	掲載資料名		内容
						巻(号)[頁]	発行元	
89	1935.02.03 —39歳—	文学	近文	*【参考】 ▽談話室▲ 御禮	雑誌	明治文學研究	02(02)[007] 明治文學談話	*「〇十三日の午後はお蔭様で非常に有意義に過させて頂きました。厚く御礼申し上げます。(東京・齋藤三郎)」とある
90	1935.03.27 —39歳—	古書	近文	*【参考】 「▲明星堂の古本目録」広告	雑誌	明治文學研究	02(03)[008] 明治文學談話	* 明治文学関係の古書目録の広告として掲載。「明星堂書房 齋藤三郎」とある
91	1929.01.01 —33歳—	新国	日芸	?【参考】 (新國劇戯會速記録)	雑誌	新國劇	(05)[028~056] 新國劇事務所	? * 新國劇の擬似国会。「革新俱樂部(與党)文藝部」の発言者に「齋藤」とある
92	1931.==.== —37歳—	野球	個人	?【参考】 ホームランボール	広告	ホームランボール	[001~014] ヨツヤ商店	? * 1931年頃にヨツヤ商店が販売した軟式野球用球「ホームランボール」の広告パンフレット(発行日付なし)
93	1932.10.22 —38歳—	野球	工情	?【参考】 昭和七年實用新案 出願公告第一四三四六號 第百十五類 一二、毬	公告	實用新案公告	【野球用「ボール」】 1931年08月13日 出願	? * ヨツヤ商店の軟式野球用ボール「ホームランボール」の實用新案公告 *願書番號 昭和六年第二五一一五號
94	1943.07.15 —47歳—	野球	国会	?【参考】 魂の球士 内村鑑三氏と野球	雑誌	相撲と野球 (「野球界」改題)	33(14)[074~075] 博文館	? * 「漁書樓逸人」の筆名。実作者は不明だが、内容や筆名から「齋藤三郎」の著作の可能性もある

? ◇以下に「齋藤三郎」と同姓同名者によると思われる著作を参考としてあげます

No	発表年月日 —満年齢—	分野	所蔵	タイトル	分類	掲載資料名		内容
						巻(号)[頁]	発行元	
95	1914.08.01 —18歳—	文学	近文	?【参考・同姓同名】 木陰(* 短歌)	雑誌	生活と藝術	01(12)[029] 東雲堂書店	? * 発表時期などを考えると「同姓同名の別人」による作品と思われる
96	1914.09.01 —19歳—	文学	近文	?【参考・同姓同名】 泣けど	雑誌	生活と藝術	02(01)[044~045] 東雲堂書店	? * 発表時期などを考えると「同姓同名の別人」による作品と思われる
97	1915.01.01 —19歳—	文学	近文	?【参考・同姓同名】 家	雑誌	生活と藝術	02(05)[076] 東雲堂書店	? * 発表時期などを考えると「同姓同名の別人」による作品と思われる
98	1925.04.01 —29歳—	文学	近文	?【参考・同姓同名】 治安維持法	雑誌	文化生活	03(04)[108] 文化生活研究	?「質問者 下谷 齋藤三郎」とある。掲載時期は〔新國劇〕に在籍中のものだが、判別不詳

発表年月日	著作タイトル	分類	掲載資料名	内容
分野			巻(号)[頁]	
所蔵先	著者・編者		発行元	
1920.01.01	關東實業野球大會	雑誌	野球界	齋藤三郎が所属した「日曜クラブ(明星倶楽部の前身)」の試合結果など
野球			10(01)[118~123]	
国会	飛田 穂洲		野球界社	
1921.12.01	美津濃主催 萬朝報後援 東京實業野球大會開催	雑誌	野球界	第十回東京實業野球大會の模範試合に「三部」の代表となり三塁手として出場した記載がある
野球			11(15)[086~087]	
国会	野球界編集部		野球界社	
1922.01.01	▲玉澤主催 關東實業野球大會▲ 戸塚對明星優勝戦	雑誌	野球界	巻頭トビラのなかに齋藤の打撃写真が掲載されている
野球			12(01)[巻頭トビラ写真]	
国会	野球界編集部		野球界社	
1922.03.01	全國實業野球團 評判記	雑誌	野球界	關東實業野球協會の關東實業倶楽部爭覇戦大会の記事で「明星倶楽部」についての記述がある
野球			12(04)[088~091]	
国会	浦村常三		野球界社	
1922.03.01	戸塚に集る 野球團の群れ	雑誌	野球界	「●明星倶楽部」の記述に「投手齋藤もかなりのコントロールあり」とある
野球			12(04)[123~124]	
国会	牛込 ホワイト生		野球界社	
1924.09.01	演劇界チーム リーグ戦	雑誌	野球界	新國劇などが参加した演劇関係者野球大會の報告。優勝戦の「五回に國劇が走者満塁で齋藤儀飛を中堅に打って一點を勝ち越す。」などとある
野球			14(12)[129]	
国会	同人記		野球界社	
1928.08.01	新國劇の人々(二)	雑誌	新國劇	「文藝部の齋藤、青木、樋口等、等の青年」とある
新国劇			(03)[036~037]	
日芸	丹後四郎		新國劇事務所	
1929.01.01	新國劇 事務座員月旦	雑誌	新國劇	「齋藤君は寫眞の名手である。」「温雅な感じのいい人である。」とある
新国劇			(05)[014~015]	
日芸	額賀六福		新國劇事務所	
1929.07.==	筋書 早慶戦時代	他	昭和四年 七月興行 筋書 新國劇 本郷座	「早慶戦時代」の あらすじ など 観劇用の参考資料
新国劇			[006~010]	
個人	新國劇		新國劇事務所	
1929.08.01	早慶戦時代 (本郷座 七月狂言)	雑誌	演藝と映畫	「早慶戦時代」の 舞台写真と解説 がある
新国劇			04(08)[10枚目]	
近文	多田鐵雄(編輯・發行)		歴史寫眞會	

発表年月日	著作タイトル	分類	掲載資料名	内容
分野			巻(号)[頁]	
所蔵先		著者・編者	発行元	
1929.08.01	本郷座の新國劇	雑誌	演藝畫報	「早慶戦時代」の演劇としての評価を述べている
新国劇			23(08)[043~045]	
国会		仲木貞一	演藝畫報社	
1929.11.15	【映画】早慶戦時代 マキノ現代映畫	他	電氣館ニュース	映画「早慶戦時代」 原作・齋藤三郎/ 監督・川浪良太/ 脚色・八田尚之/ 撮影・石野誠三 とある
映画			01(50)[001~005]	
個人		小川久嗣(編輯・發行)	浅草公園 電氣館	
1937.03.06	筆者について	新聞	東京日日新聞	「本朝“野球學、事始め」 の連載にあたって筆者の 齋藤三郎を紹介したもの
野球			(21770)[朝刊 13面]	
国会		一記者	東京日日新聞社	
1938.06.29	東京府 齋藤三郎	書籍	日本蒐書家名簿 昭和十三年版	齋藤三郎の収集対象 として「野球文献一切 及明治大正之文學」 とある
古書			[024]	
国会		日本古書通信社編輯部	日本古書通信社	
1940.10.05	古本屋 時局座談會	雑誌	日本古書通信	八木敏夫など27人が出席 した座談会に「同人」として 参加。齋藤の発言内容は 掲載されていない
古書			(135)[001~015]	
国会		日本古書通信社編輯部	日本古書通信社	
1940.12.25	野球展出品目録 (順序不同) 齋藤三郎殿出品	書籍	創始百年記念 野球展覽會誌	齋藤三郎殿出品として 齋藤が「展覽会」に出品 した書籍などの一覧が 記載されている
野球			[003~005]	
国会		土岐桂一郎	阪急百貨店	
1941.02.25	上野櫻木町時代	雑誌	新國劇	雑誌「新國劇」創刊の頃、 齋藤三郎・樋口十一・青木 齊一郎などが編集を担当 していたことなどの回想
新国劇			(27)[046~048]	
日芸		樋口十一	新國劇事務所	
1949.04.20	野球思ひ出帖 三 C	書籍	青春野球手帖	「新國劇」の野球部で 齋藤が主将兼投手、 サトウ・ハチローが捕手 であったことなど
野球			[080~126]	
国会		サトウ・ハチロー	石狩書房	
1949.11.10	68 蘇山人 むたび	雑誌	天狼	「追記」として齋藤三郎が 執筆した「謎の放浪詩人 『蘇曼珠』について」を 読んだ感想が書いてある
文学			02(11)[012~015]	
国会		山口誓子	養徳社	
1953.04.25	にほん・やきゅう・ぶんけん・ かいだい[日本野球文献解題]	書籍	体育書解題	『日本 野球文献解題』に ついて「洵に汗の結晶たる 貴重な文献」との解説がある
野球			[220]	
国会		野口岩三郎	不味堂書店	

発表年月日	著作タイトル	分類	掲載資料名	内容
分野			巻(号)[頁]	
所蔵先	著者・編者		発行元	
1953.05.30	私の打法感 =齋藤三郎氏に答う=	新聞	スポーツ毎日	随想「重心のコツ」へ 寄せられた齋藤の指摘 についての補足など
野球 国会	森秀雄		06(23)[朝刊 04面] 毎日新聞社	
1954.07.06	一啄木研究家一 齋藤三郎氏来釧	新聞	北海道新聞	「石川啄木の研究者として著名な齋藤三郎氏(五八)一東京都豊島区池袋一の〇六一は四日雲仙丸で来釧、五日、丹葉釧路市公民館長らと釧路市立図書館を訪ね」などある
啄木 国会	北海道新聞社[署名なし]		釧路版[朝刊 08面] 北海道新聞社	
1957.10.10	石川啄木・著作目録	雑誌	文学	「本目録の作成にあたっては、齋藤三郎氏の『文献 石川啄木』や岩波書店版『啄木全集』の解説に負う所が多い。」などとある
啄木 国会	昆豊		25(10)[012~022] 岩波書店	
1958.09.15	文車会主催 座談会 明治文学書の思い出(承前) 古書価の変動を中心に 玄誠堂書店 芥川徳郎氏に聞く	雑誌	日本古書通信	芥川徳郎{アクガワ・ヨシオ}が「石川巖氏のこと」(p.7)のなかで齋藤三郎の古書収集にまつわる逸話を語る
古書 国会	芥川徳郎		23(09)[004~007] 日本古書通信社	
1959.06.01	「明星」までの鉄幹	雑誌	國語と國文學	雑誌「海内詩媒」を齋藤三郎から譲られたことなどにふれている
文学 国会	新聞進一		36(06)[001~014] 東京大学国語国文学会	
1961.03.06	強化したチーム 一時はプロの話も	新聞	讀賣新聞	「よみうり演芸館」の967回、商業演劇「新国劇」編(17)のなかで齋藤の写真と野球の思い出が紹介されている
新国劇 国会	俵藤丈夫		(30299)[夕刊 05面] 讀賣新聞社	
1961.==.==	文献資料	書籍	事業報告	齋藤三郎の没後に寄贈された書籍・雑誌などの目録が記載されている
野球 野博	野球体育博物館		[003~020] 野球体育博物館	
1963.06.01	在日外国人教師の 遺跡巡礼(5)	雑誌	英語と英文学	Frederick W. Strangeのなかで齋藤の「本朝「野球學」事始め」を参考にしている
野球 国会	手塚竜麿		(87)[012~013] 研究社出版	
1963.10.15	野球体育博物館	雑誌	日本古書通信	スポーツ文献の収集者のひとりとして齋藤三郎をとりあげている
野球 国会	広瀬謙三		28(10)[001] 日本古書通信社	
1967.05.15	古書店主五人が語る 勝本清一郎氏の印象	雑誌	日本古書通信	古書展での齋藤三郎とのエピソードなどを語っている
古書 国会	芥川徳郎		32(05)[020~021] 日本古書通信社	
1967.06.25	昭和17年6月 〔単行本〕	書籍	『昭和書籍/新聞/雑誌 発禁年表』下(二)	『文献 石川啄木』が1942年6月24日に発行禁止処分をうけたことの記述がある
啄木 国会	小田切秀雄/福岡井吉		下(二)[926] 明治文献	

発表年月日	著作タイトル	分類	掲載資料名	内容
分野			巻(号)[頁]	
所蔵先	著者・編者		発行元	
1967.08.01	啄木研究への道 (二、)啄木への実証学的研究	雑誌	あしあと (16)[001~007]	「大阪啄木の会」会誌へ連載した記事の第二回。齋藤三郎の「啄木研究」を批判的にとりあげている
啄木 近文	川並秀雄		大阪啄木の会	
1967.09.==	半世紀も前のこと —啄木研究の足跡を顧みて—	他	啄木全集 月報 (04)[001~003]	齋藤三郎との出会いや交際などについて回想した部分がある
啄木 国会	吉田孤羊		筑摩書房	
1967.09.==	原典とはなにか?	他	啄木全集 月報 (04)[005~006]	石川啄木の『悲しき玩具』の作品配列の「乱れ」に関して齋藤の説明を検討する
啄木 国会	久保田正文		筑摩書房	
1968.03.09	啄木研究の足跡 —序に代えて—	書籍	歌人啄木 [003~011]	『啄木全集』月報 第4号に書いた「半世紀も前のこと—啄木研究の足跡を顧みて—」を改題して採録したもの
啄木 国会	吉田孤羊		洋々社	
1970.07.30	解説 —啄木研究史ノート—	書籍	石川啄木 日本文学研究資料叢書 [313~321]	齋藤の「啄木研究」の功績などについての記述がある
啄木 国会	昆豊		有精堂出版	
1970.11.25	主要文献解題	書籍	石川啄木事典 [248~252]	齋藤三郎の啄木に関する著書4冊の短い解説がある
啄木 国会	司代隆三		明治書院	
1971.04.13	石川啄木の妻節子の生涯(1) —並びにその後の問題—	雑誌	あしあと (30)[004~021]	石川啄木が堀合節子と結婚するまでの事情に関して齋藤三郎の『啄木文學散歩』のなかに誤伝があると指摘する
啄木 近文	堀合了輔		大阪啄木の会	
1972.04.30	第一章 啄木研究への道	書籍	石川啄木新研究 [092~120]	大阪啄木の会会誌「あしあと」に連載した記事などを収録する
啄木 国会	川並秀雄		冬樹社	
1972.09.15	スポーツ文献 解題	書籍	明治文化資料叢書 第10巻 スポーツ篇 10[003~010]	『日本 野球文献解題』についての解説など
野球 国会	木村毅		風間書房	
1972.11.30	「野球文献史話」 について	書籍	日本野球創世記 [187~189]	齋藤三郎との初対面の印象や野球史研究の功績を高く評価したもの
野球 国会	君島一郎		ベースボール・マガジン社	

発表年月日	著作タイトル	分類	掲載資料名	内容
分野			巻(号)[頁]	
所蔵先		著者・編者	発行元	
1975.11.25	在京外人教師の 遺跡巡礼	書籍	日本近代化の 先駆者たち	「F・ストレンジ」のなかで 齋藤の「本朝「野球學」 事始め」を参考にする
野球 国会			[304~332]	
1978.11.18	齋藤三郎 さいとう さぶろう	書籍	日本近代文学大事 典 第2巻 人名編	齋藤三郎の経歴や 著書・著作などに ついて書いたもの
啄木 国会			02[071]	
1981.01.24	日本野球文献解題*	書籍	体育・スポーツ書解題	解題に「少年時代の野球への 報恩の気持で15年来収集して きた野球に関する本を解説し たもの」とある
野球 国会			[404]	
1983.03.31	ルールを通して見た明治期 日本における野球理解 -明治16年から同33年まで-	雑誌	「体育学紀要」東京 大学教養学部紀要	『日本 野球文献解題』 や齋藤の価値について 述べている
野球 国会	渡辺融	(17)[001~031]	東京大学教養学部体育研究室	
1985.03.27	第二新国劇と島田・辰巳 体制の確立、および しわらじ劇園のこと	書籍	日本現代演劇史 明治・大正篇	「早慶戦時代」が初演され たときの状況を当時の劇 評などを引用するなどして 紹介している
新国劇 国会	大笹吉雄	[269~278]	白水社	
1988.02.07	子規は知らなかった? 「野球」の名付け親 中馬庚伝26	新聞	南日本新聞	1987年12月から「南日本新聞」 に連載した記事の第26回のな かで齋藤三郎についてとりあげ ている
野球 国会	城井睦夫	[朝刊 16面]	南日本新聞社	
1987.02.10	伝記研究の方法	書籍	啄木全作品解題 岩城之徳 啄木研究 三部作ノ三	新聞・雑誌の調べ方を 学ぶために齋藤三郎の 『文獻 石川啄木』が 有益なことなどについて
啄木 国会	岩城之徳	[297~298]	筑摩書房	
1988.04.15	夢寺復興縁起 岩波書店で60年 余話	雑誌	日本古書通信	1947年の夏に齋藤が 「夢二絵葉書の原画」を 持って来たことなど
古書 国会	長田幹雄	53(04)[010~012]	日本古書通信社	
1988.07.01	馬上指揮の疑問 —熱涙と凱歌 早慶戦応援団秘史—第6回	雑誌	ベースボール・マガジン	1906年の早稲田と慶応 の試合をめぐるトラブルに 関する記述のなかで齋藤 三郎について述べている
野球 国会	横田順彌	12(03)[127~133]	ベースボール・マガジン社	
1988.08.24	創造の軍団、新国劇 ／公演記録	書籍	新国劇七十年 栄光の記録	公演記録に「早慶戦時代」 ・関係スタッフの演出家の なかに「齋藤三郎」の記載 がある
新国劇 国会	新国劇記録保存会	[223~224, 364~365]	新国劇記録保存会	

発表年月日	著作タイトル	分類	掲載資料名	内容
分野			巻(号)[頁]	
所蔵先		著者・編者	発行元	
1988.10.01	わが資料搜索の日々	雑誌	本の雑誌	齋藤三郎に関する資料収集の困難さについて書いたもの
野球			13(07)[068~071]	
国会		横田順彌	本の雑誌社	
1988.11.30	「野球」命名事情と子規 —「野球文献史話」が語る	書籍	「野球」の名付け親・ 中馬庚伝	1987年12月から1988年3月まで「南日本新聞」に連載したものを本にまとめたなかの一章
野球			[096~098]	
国会		城井睦夫	ベースボール・マガジン社	
1989.01.20	2 プロ野球第二号は 「天勝野球団」 これも関東大震災で解体	書籍	プロ野球誕生前夜	「新国劇の齋藤投手は早稲田の寿司屋の職人で、」「新国劇に引っ張られ、野球のない時は大道具をやっていた」との記述
野球			[024~028]	
国会		東田一朔	東海大学出版会	
1989.05.01	地獄の資料館① 資料はやっぱり現物に あたれの巻	雑誌	本の雑誌	齋藤三郎を例に正確な資料調査の難しさを書いたもの
野球			14(05)[084~087]	
国会		横田順彌	本の雑誌社	
1991.07.20	馬上指揮の疑問	書籍	早慶戦の謎 —空白の十九年	「ベースボール・マガジン」誌に連載したものをまとめた単行本のなかの一部
野球			[138~147]	
国会		横田順彌	ベースボール・マガジン社	
1991.09.10	石川啄木 研究史大概	書籍	群像 日本の作家7 石川啄木	齋藤の『文献石川啄木』(正・続)が啄木の書誌的研究の資料集であることなどについて書かれている
啄木			[300~311]	
国会		近藤典彦	小学館	
1992.03.01	啄木研究史の一視点 —「啄木最後の思想的 転回」説批判—	書籍	1991 国際啄木学会 台北大会論集	齋藤が1946年に岩波文庫版『啄木歌集』で啄木の“転回”説は「到底あり得なかつた」と書いていることなど
啄木			[137~154]	
国研		近藤典彦	淡江大学日文系	
1992.09.21	はなかご 『花籠』	書籍	荷風全集 第一巻	「後記」のなかで齋藤三郎が1940年に「書物展望」で『かたわれ月』と共に紹介したことなどを書いている
文学			[415~416]	
国会		竹盛天雄	岩波書店	
1992.11.01	啄木享受の歴史 —没後三〇年の覚書—	書籍	石川啄木入門	齋藤の『文献 石川啄木』(正・続)が「啄木研究・享受冬の時代の別格の業績である」などとある
啄木			[096~100]	
国会		近藤典彦	思文閣出版	
1992.12.10	わが資料探索の日々 早慶戦を追跡せよ 今月買った本	書籍	探書記	「わが資料搜索の日々」など雑誌に連載したものをなどを収録した単行本
野球			[008~025, 059~063]	
国会		横田順彌	本の雑誌社	

発表年月日	著作タイトル	分類	掲載資料名	内容
分野		巻(号)[頁]		
所蔵先		発行元		
1993.07.20	啄木とローマ字詩 「新しき都の基礎」 —『空中戦争』にふれて	雑誌	国際啄木学会 会報	啄木のローマ字日記のなか の「新しき都の基礎」に関して 齋藤がすでに調査していたこと などを述べている
啄木 国会		(05)[020~023] <small>日本大学国際関係学部岩城之徳研究室</small>		
1993.11.05	齋藤三郎 —考証確かな球史家は 啄木研究もエース級	雑誌	朝日ワンテママガジン (20世紀ニッポン 異能異才100人)	齋藤の経歴と「野球史 研究」や「啄木研究」の 功績を紹介したもの
野球 国会		(17)[072~073] 朝日新聞社		
1993.12.25	土蔵の中の野球史研究 『齋藤三郎』	雑誌	彷徨月刊	齋藤三郎の「野球史 研究」や経歴などを 調べた短い評伝
野球 国会		10(01)[017~019] 彷徨社		
1994.06.10	序章 啄木研究史のアポリアを解く 第一章 明治の時空を超えた詩人 —その予見性・先駆性 終章 不滅の天才詩人 など	書籍	石川啄木と 明治の日本	「石川啄木研究史大概」 などの著作を加筆修正 して本にしたもの
啄木 国会		[001~034, 245~274] 吉川弘文館		
1996.02.23	正吾 獨り語り 新国劇とともに	雑誌	アサヒグラフ	尾久球場で撮影の新国劇 野球部の写真が掲載。 (齋藤のユニフォーム姿)
新国劇 国会		(3850)[011] 朝日新聞社		
1996.10.14	「戦前の日本野球 映画を語る」清水晶 早慶戦全盛時代の野球映画	書籍	日米野球映画 キネマ館	映画「早慶戦時代」に ついての記述がある
映画 国会		[240~244] 報知新聞社		
1997.01.26	書林探訪 思わず、にやり	新聞	日本経済新聞	『石川啄木詩集』(角川文庫・ 1952年)の齋藤の「解説」が 対話形式であることなどを 書いたもの
啄木 国会		[朝刊 32面] 日本経済新聞社		
1997.06.01	特集対談 明治「巨人」曼陀羅 人材輩出装置 明治時代の魅力	雑誌	歴史読本	「アカデミズムの限界」 のなかで齋藤が「正当に 評価されていない」こと などを語り合っている
文学 国会		42(06)[026~040] 新人物往来社		
1997.06.01	齋藤三郎 野球史研究の第一人者 にして啄木研究のエース	雑誌	歴史読本	齋藤三郎の「野球史 研究」や「啄木研究」 などを紹介したもの
野球 国会		42(06)[210] 新人物往来社		
1999.07.16	齋藤三郎 『文献・石川啄木』	書籍	別冊太陽 城市郎コレクション 発禁本 明治・大正・昭和・平成	齋藤三郎『文献・石川啄木』 昭和17年 菊判上製 青磁社 (女郎買いの歌を引用、4カ 月後風俗禁止)とある
啄木 国会		[166] 平凡社		

発表年月日	著作タイトル	分類	掲載資料名	内容
分野			巻(号)[頁]	
所蔵先		著者・編者	発行元	
1999.11.01	齋藤三郎 一知の清流	雑誌	歴史読本	「聞き書き 新選組秘話 綾瀬村の近藤勇」の解題。齋藤の野球史研究などについて書いたもの
野球			44(13)[174~175]	
国会		弘田正典	新人物往来社	
1999.11.18	齋藤三郎 啄木拾遺 「明治文学研究」 第2巻2号 など	書籍	石川啄木文献 書誌集大成	齋藤三郎が発表した 啄木研究のほとんどの 書誌を網羅している
啄木			[076~326]	
国会		佐藤勝	武蔵野書房	
2001.07.25	第6章 その後の 野球小僧たち	書籍	につぼん野球の 系譜学	齋藤の「少年の日の追憶」が1939年頃の「野球の国家統制」への「異議申し立てであり、野球の自由をめぐる闘いの一翼を担うもの、と読むことができる」とある
野球			[169~178]	
国会		坂上康博	青弓社	
2007.03.15	卒業生名簿	書籍	市川小学校閉校記念誌 市川っ子	齋藤の母校の閉校記念誌。齋藤三郎が「明治38年度」の卒業との記録が掲載されている
歴史			[172]	
国会		野沢温泉村立市川小学校閉校記念事業実行委員会記念誌編集部	野沢温泉村立市川小学校閉校記念事業実行委員会	

？ 以下に「齋藤三郎」と同姓同名で特に紛らわしいと考えられる「編集者・雑誌記者の齋藤三郎」について書かれたと思われる著作を参考としてあげておきます

発表年月日	著作タイトル	分類	掲載資料名	内容
分野			巻(号)[頁]	
所蔵先		著者・編者	発行元	
1965.05.10	混迷と再建 昭和二十二年三月—九月	書籍	高見順日記 第八巻	「齋藤三郎君と車で丸ビルへ行き、磐城セメント会社を訪れる。」などとあるが、編集者の「齋藤三郎」のことと思われる
文学			08[009, 063]	
国会		高見順	勁草書房	
1974.11.20	戦時日記	書籍	広津和郎全集 第十三巻	戦時中に何度も広津宅を訪ねていた「齋藤三郎」についてふれているが、編集者や雑誌の記者をしていた「齋藤三郎」のことと思われる
文学			13[328~366]	
国会		広津和郎	中央公論社	
1978.02.17	あおまつむし	書籍	動物小品集	若い友人として「齋藤三郎」についてふれているが、編集者や雑誌の記者をしていた「齋藤三郎」のことと思われる
文学			[024~034]	
国会		広津和郎	築地書館	
1983.11.18	経済往来	書籍	日本近代文学大事典 第5巻 新聞・雑誌編	齋藤三郎が雑誌「経済往来」の編集にたずさわっていたとあるが、編集者を職業としていた「齋藤三郎」のことと思われる
文学			05[811]	
国会		榎本隆司	講談社	

No	タイトル	掲載頁
37	一高時代の野球 -野球文献史解題3-	12
30	一高野球部の精神〔野球練成物語〕	11
07	運動精神の眞を探ねて …「早慶戦時代」について	6
62	外野席から審判へ	21
32	脚絆草鞋掛けの野球 -一高覇権確立の鍵-	12
59	近代打法私見	20
10-01	国際野球試合の濫觴 イムプリー事件 【上】	7
10-02	国際野球試合の濫觴 イムプリー事件 【下】	7
06	「作者の言葉」	6
93	?【参考】「昭和七年實用新案 出願公告 第一四三四六號」第百十五類 一二、毬	27
60	神宮球場の旋風児	20
01	新國劇野球部 關西轉戦記	6
26	素手時代の少年野球〔練成の野球〕	11
33	精神野球酣の頃(覇者一高悲憤の雪辱)	12
05-01	「早慶戦時代」6景 (新國劇 本郷座 七月上演台本)	6
05-02	「早慶戦時代」6景 (新國劇 本郷座 七月上演台本)【第二回】	6
94	?魂の球士 内村鑑三氏と野球【参考】	27
21-01	日本最初の野球の書 ㊤	10
21-02	日本最初の野球の書 ㊦	10
21-03	日本最初の野球の書 ㊧	10
45	日本のクーパース・タウンはどこか	13
23	『日本 野球文献解題』	10
73	日本 野球文献解題	25
08-01	日本野球物語 明治初年の野球と当時のルール【上】	6
08-02	日本野球物語 明治初年の野球と当時のルール【中】	7
08-03	日本野球物語 明治初年の野球と当時のルール【下】	7
63	バッティング論 近代打法と早稲田式	21
92	?ホームランボール【参考】	27

No	タイトル	掲載頁
16-01	本朝 “野球學、事始め ①	8
16-02	本朝 “野球學、事始め ②	8
16-03	本朝 “野球學、事始め ③	8
16-04	本朝 “野球學、事始め ④	8
16-05	本朝 “野球學、事始め ⑤	8
16-06	本朝 “野球學、事始め ⑥	8
16-07	本朝 “野球學、事始め ⑦	8
16-08	本朝 “野球學、事始め ⑧	8
16-09	本朝 “野球學、事始め ⑨	8
16-10	本朝 “野球學、事始め ⑩	9
16-11	本朝 “野球學、事始め ⑪	9
16-12	本朝 “野球學、事始め ⑫	9
16-13	本朝 “野球學、事始め ⑬	9
16-14	本朝 “野球學、事始め ⑭	9
16-15	本朝 “野球學、事始め ⑮	9
16-16	本朝 “野球學、事始め ⑯	9
16-17	本朝 “野球學、事始め ⑰	9
42	野球綺談	13
46-01	野球千夜一夜 01	13
46-02	野球千夜一夜 02	13
46-03	野球千夜一夜 03	13
46-04	野球千夜一夜 04	13
46-05	野球千夜一夜 05	13
46-06	野球千夜一夜 06	13
46-07	野球千夜一夜 07	14
46-08	野球千夜一夜 08	14
46-09	野球千夜一夜 09	14
46-10	野球千夜一夜 10	14

No	タイトル	掲載頁
46-11	野球千夜一夜 11	14
46-12	野球千夜一夜 12	14
46-13	野球千夜一夜 13	15
46-14	野球千夜一夜 14	15
46-15	野球千夜一夜 15	15
46-16	野球千夜一夜 16	15
46-17	野球千夜一夜 17	15
46-18	野球千夜一夜 18	16
46-19	野球千夜一夜 19	16
46-20	野球千夜一夜 20	16
46-21	野球千夜一夜 21	16
46-22	野球千夜一夜 22	16
46-23	野球千夜一夜 23	16
46-24	野球千夜一夜 24	16
46-25	野球千夜一夜 25	16
46-26	野球千夜一夜 26	17
46-27	野球千夜一夜 27	17
46-28	野球千夜一夜 28	17
46-29	野球千夜一夜 29	17
46-30	野球千夜一夜 30	17
46-31	野球千夜一夜 31	17
46-32	野球千夜一夜 32	17
46-33	野球千夜一夜 33	17
46-34	野球千夜一夜 34	17
46-35	野球千夜一夜 35	17
46-36	野球千夜一夜 36	18
46-37	野球千夜一夜 37	18
46-38	野球千夜一夜 38	18
46-39	野球千夜一夜 39	18

No	タイトル	掲載頁
24-01	野球の渡來年代に就て ①	10
24-02	野球の渡來年代に就て ②	10
24-03	野球の渡來年代に就て ③	10
24-04	野球の渡來年代に就て ④	11
11	野球の變遷 爐邊球談	7
35	野球文獻解題	12
54-01	野球文獻史話 ①	18
54-02	野球文獻史話 ②	18
54-03	野球文獻史話 ③	18
54-04	野球文獻史話 ④	18
54-05	野球文獻史話 ⑤	19
54-06	野球文獻史話 ⑥	19
54-07	野球文獻史話 ⑦	19
54-08	野球文獻史話 ⑧	19
54-09	野球文獻史話 ⑨	19
54-10	野球文獻史話 ⑩	19
54-11	野球文獻史話 ⑪	19
54-12	野球文獻史話 ⑫	20
54-13	野球文獻史話 ⑬	20
54-14	野球文獻史話 ⑭	20
54-15	野球文獻史話 ⑮	20
54-16	野球文獻史話 ⑯	20
54-17	野球文獻史話 ⑰	20
54-18	野球文獻史話 ⑱	20
54-19	野球文獻史話 ⑲	20
44	野球むかしばなし	13
28	『野球』命名前後	11
36	野球理論確立の情熱(野球文獻解題2)	12

No	タイトル	掲載頁
61-01	あとがき『啄木全集』第01巻	21
61-02	あとがき『啄木全集』第02巻	21
61-03	あとがき『啄木全集』第03巻	21
61-04	あとがき『啄木全集』第04巻	21
61-05	あとがき『啄木全集』第05巻	21
61-06	あとがき『啄木全集』第06巻	22
61-07	あとがき『啄木全集』第07巻	22
61-08	あとがき『啄木全集』第08巻	21
61-09	あとがき『啄木全集』第09巻	22
61-10	あとがき『啄木全集』第10巻	22
61-11	あとがき『啄木全集』第11巻	21
61-12	あとがき『啄木全集』第12巻	22
61-13	あとがき『啄木全集』第13巻	21
61-14	あとがき『啄木全集』第14巻	22
61-15	あとがき『啄木全集』第15巻	22
61-16	あとがき『啄木全集』第16巻	23
71-01	あとがき『啄木全集』新装版 第01巻	23
71-02	あとがき『啄木全集』新装版 第02巻	23
71-03	あとがき『啄木全集』新装版 第03巻	23
71-04	あとがき『啄木全集』新装版 第04巻	23
71-05	あとがき『啄木全集』新装版 第05巻	23
71-06	あとがき『啄木全集』新装版 第06巻	24
71-07	あとがき『啄木全集』新装版 第07巻	24
71-08	あとがき『啄木全集』新装版 第08巻	24
71-09	あとがき『啄木全集』新装版 第09巻	24
71-10	あとがき『啄木全集』新装版 第10巻	24
71-12	あとがき『啄木全集』新装版 第11巻	24
71-13	あとがき『啄木全集』新装版 第12巻	24
71-14	あとがき『啄木全集』新装版 第13巻	24
71-15	あとがき『啄木全集』新装版 第14巻	24
71-16	あとがき『啄木全集』新装版 第15巻	25

No	タイトル	掲載頁
71-17	あとがき『啄木全集』新装版 第16巻	25
47-01	石川啄木における思想的詩歌の發展(上)	14
47-02	石川啄木における思想的詩歌の發展(下)	14
69	「所謂今度の事」についての一考察	23
71-11	「所謂今度の事」についての一考察 (『啄木全集』新装版 第10巻)	24
58	解説『石川啄木 全歌集』	19
55	解説『青春の譜』	18
57	解題『石川啄木詩集』	19
40	解題『啄木歌集』	12
68	解題『啄木歌集』(20刷 改版)	23
74	解題『啄木歌集』(岩波クラシックス49)	25
39	『悲しき玩具』の決定版に就て	12
87	*『脚光を浴びる啄木』前進座「若き啄木」 上演 記念 座談会【座談会】	26
64	小傳(『啄木全集』別巻『啄木案内』)	22
70	小傳(『啄木案内』)新装版	23
66	書評 岩城之徳著『石川啄木伝』	23
31	『續 文獻 石川啄木』	11
12	啄木拾遺	7
41	『啄木と故郷人』〈學藝選書-1-〉	12
53	啄木と労働の歌	18
14	啄木の逸歌	7
75	啄木の逸歌(復刻版)	25
13	啄木の逸詩=『夏の朝』に就て=	7
72	啄木の伊藤公哀悼歌と頽廢歌攻撃	25
56	啄木の俳句	19
88	*啄木の人と生活【座談会】	26
67	『啄木文學散歩-啄木遺跡を探る-』	23
43	定本「啄木歌集」に就て(白桃書房)	13
50	定本「啄木歌集」に就て(梅花書院)	15
65	蕪村と啄木	22
29	『文獻 石川啄木』	11

No	タイトル	掲載頁
83	綾瀬村の近藤勇	26
34	板垣退助氏が語る-中江兆民の臨終に就て-	12
80	板垣退助氏が語る-中江兆民の臨終に就て-(復刻版)	26
15	逸文抄(その十) 上海紀行	8
76	逸文抄(その十) 上海紀行(復刻版)	25
22	活動寫眞渡來以前の文献	10
82	聞きがき 新選組秘話 綾瀬村の近藤勇 第一話	26
38	鏡花の逸文『僕の迷信』に就て	12
81	鏡花の逸文『僕の迷信』に就て(復刻版)	26
18	滬遊雑吟 (逸文抄十四その一)	9
78	滬遊雑吟 (逸文抄十四その一)(復刻版)	25
84	* 澤田と中井の角力勝負(二色寫眞) 夏の旅…澤田正二郎の海水浴【写真】	26
04	紙上芝居 赤穂浪士・沓掛時次郎	6
91	? 新國劇戲會速記録【参考】	27
03-01	新國劇座員フースヒー 幹部男優の巻(1)	6
03-02	新國劇座員フースヒー 幹部男優の巻(2)	6
52	蘇山人とその俳句	16
89	* ▽談話室▲ 御禮	27
27-01	『敵は幾万』と美妙 一	11
27-02	『敵は幾万』と美妙 二	11

No	タイトル	掲載頁
27-03	『敵は幾万』と美妙 三	11
20	東京に於ける最初の ヴァイタスコープ興行記録	10
25	投書家時代の荷風の作品(逸文)	11
79	投書家時代の荷風の作品(逸文) (復刻版)	25
02	道頓堀から—新國劇—	6
49-01	謎の放浪詩人『蘇蔓殊』について【一】	15
49-02	謎の放浪詩人『蘇蔓殊』について【二】	15
49-03	謎の放浪詩人『蘇蔓殊』について【三】	15
49-04	謎の放浪詩人『蘇蔓殊』について【完】	15
19	日本に於ける最初の映畫興行記録	10
85	* 馬上姿の澤田【写真】	26
51	再び「蘇蔓殊」に就て	16
17	掘出し物語	9
77	掘出し物語(復刻版)	25
09-01	眞山青果と澤田正二郎	7
09-02	眞山青果と澤田正二郎(その二)	7
90	* ▲明星堂の古本目録(広告)	27
86	* モデルの人 「オリムピック」の鶴田選手を圍んで【座談会】	26
48-01	與謝野晶子の長詩 『君死に給ふこと勿れ』に就て(上)	14
48-02	與謝野晶子の長詩 『君死に給ふこと勿れ』に就て(下)	14

◇写真や記事の無断転用を禁じます

◇原則として常用漢字・現代かなづかいを用いましたが、人名・引用文など一部に例外もあります

『齋藤三郎 著作目録』

発行: 2008年02月29日

著者: 弘田 正典(ひろた まさのり)

○おもな所蔵先の略記号、連絡先などを以下に示します

所蔵先 略記号	所蔵先	所蔵先の住所・連絡先
国会	国立 国会図書館	〒100-8924 東京都千代田区 永田町1-10-1 電話:03(3581)2331[代表]
野博	財団法人 野球体育博物館 図書室	〒112-0004 東京都文京区 後楽1-3-61 電話:03(3811)3600
近文	財団法人 日本近代文学館	〒153-0041 東京都目黒区 駒場4-3-55 電話:03(3468)4181
日芸	日本大学 芸術学部 図書館(江古田)	〒176-8525 東京都練馬区 旭丘2-42-1 電話:03(5995)8206
日文	日本大学 文理学部 図書館	〒156-8550 東京都世田谷区 桜上水3-25-40 電話:03(3329)1151
労研	独立行政法人 労働政策研究・ 研修機構 労働図書館	〒177-8502 東京都練馬区 上石神井4-8-23 電話:03(5991)5032
国研	独立行政法人 国立国語研究所	〒190-8561 東京都立川市 緑町10-2 電話:042(540)4640
工権	独立行政法人 工業所有権 総合情報館 閲覧部	〒100-0013 東京都千代田区 霞が関3-4-3(特許庁庁舎内) 電話:03(3204)3346

※所蔵先への連絡などは最新の情報をご確認ください